



沖縄県 | 南風原町
町勢要覧2020

Official Guide to Haebaru Town

～ 人と文化が紡ぎ織りなすまち ～



沖縄県 南風原町

鮮やかな歴史文化息づく
実り豊かな黄金南風の平和郷。



昭和46年4月18日制定

町章

町名の頭文字「は」を以て鳥の雄飛するイメージに図案化し、町の平和と融和団結、さらに協力を表現し、併せて産業文化の躍進伸張を単純明快に象徴した町章です。また「波頭」をあしらって悠久に流れる国場川を意図しています。



◎町の花:ブーゲンビレア
(昭和57年12月25日告示)



◎町の木:コクタン
(昭和57年12月25日告示)

沖縄で唯一、海のない「はえばる」

南風原町は12の字(あざ)から成る県内で唯一海岸に面していない町です。高速道路や主要幹線道路が通る交通アクセス抜群のエリアに位置しており、琉球かすり・花織等の伝統工芸や、かぼちゃやヘチマの生産地として知られています。



CONTENTS【目次】

- 02 町勢要覧発刊にあたって
- 03 南風原町歌・南風原音頭
- 04 南風原町 TOWN MAP
- 06 琉球かすり
- 10 南風原良品
- 16 南風原町の祭り&イベント
- 18 南風原町の民俗芸能
- 20 南風原町指定文化財
- 22 南風原町立南風原文化センター

- 24 南風原と沖縄戦
- 28 南風原町の戦跡
- 30 南風原人物列伝
- 32 南風原の民話
- 34 第5次南風原町総合計画
 - ①自治・協働 ④産業・雇用
 - ②教育・文化 ⑤都市基盤・安全・安心
 - ③健康・福祉 ⑥環境
- 48 世界とつながる南風原の心

資料編

- 50 人口及び世帯数の推移・年齢3区分別人口の推移
- 51 年齢5歳階級別人口の推移
- 52 町の位置面積・主な丘陵・町内の河川・気温
- 53 一般会計歳入決算状況・一般会計歳出決算状況
- 54 町税決算状況
- 55 歴代【町長・(副町長)助役・教育長・議長・副議長】
- 56 はえばるのあゆみ
- 60 南風原町の自治会
- 62 南風原テレホンガイド
- 64 南風原町行政機構図
- 65 目で見える南風原(平成30年度版統計はえばる第13号より)

町勢要覧発刊にあたって

南風原町長 赤嶺 正之

南風原町は、沖縄県本島南部のほぼ中央に位置し、県都那覇市の東に隣接しております。那覇空港自動車道をはじめとする幹線道路の整備や、津嘉山北土地区画整理事業により生活利便性の高い町として発展してきました。令和2年4月には、人口が4万人に到達、住民の平均年齢が39歳と若い世代に人気の町となっています。

特産物には、琉球絨や美瓜(へちま)、ストレリチア、スターフルーツがあります。また、町内には数多くの伝統芸能や文化財が残されており、地域の伝統文化は現在も受け継がれています。

今回発行いたしました南風原町勢要覧が多くの方の目にとまり、南風原町のまちづくりに対して、関心・理解・協力を深めていただけたら幸いです。

Publication of the Haeburu Town Guidebook

Masayuki Akamine, Mayor of Haeburu Town

At the east of Naha City, the capital of Okinawa Prefecture, Haeburu Town is located virtually at the center of the southern region of Okinawa Main Island. Thanks to the development of the Naha Airport Expressway and other arterial roads, as well as the Tsukayama North Land Readjustment Project, the town has been developed into a convenient place to live. In April 2020, the population reached 40,000 and the average age of the residents is 39, indicating its popularity with the younger generations.

Some specialties of Haeburu Town are Ryukyu Kasuri textiles, loofah, strelitzia, and starfruits. Additionally, the town has many traditional performing arts and cultural assets; the traditional culture of the region is still being handed down to this day.

We hope that this issue of the Haeburu Town Guidebook will catch the attention of many people and deepen their interest, understanding, and cooperation in the development of Haeburu Town.



町長室から
【施政方針】



南風原町観光大使



平成25年4月1日、南風原町から「観光大使」に任命されました。

南風原町の自然の中で太陽をサンサンと浴びて育った明るく、元気いっぱいのはえるんです。18世紀後半、鳥のように大空を羽ばたいた「飛び安里」のように空を飛べるようになって全国に南風原をPRしたいん♪

南風原町は沖縄県で唯一海に面していないけど、かぼちゃやへちま、かすり織り体験などおいしいものや楽しいことがいっぱい！南風原町に遊びに来てね!! 待ってん♪



ストレリチア

この花はストレリチアという花だん♪
南風原はストレリチア生産高日本一!

ブーゲンビリア

この花は町花、ブーゲンビリアだん♪
ブーゲンビリアは元来ブラジルの原産だけど南風原町の自然環境にも適し、南国的、情熱的な花だん♪

南風原のかぼちゃ

頭は南風原町のおいしいかぼちゃで、眉毛はシーサーをイメージ。かぼちゃについているマークは南風原町の町章だん♪

かすりの着物

かすりは木綿の糸を藍(あい)で染めたものと白ぬぎにしたものを模様にあわせて織る織物だん♪
はえるんの着物も自分で織っただん♪



沖縄県島尻郡南風原町
南風原町観光協会 公式サイト
☎ 098-851-7273

Instagram
はえるんとながろう!



南風原町歌

♩ = 104 はつらつと

mf あ け ゆ く あ さ よ な ん ご く の そ ら

に ー か が や く ひ の ひ か り

mp あ ふ れ る の ど み は つ ら つ と

あ あ や く し ん の く も が と ぶ わ れ

ら が き ょ う ど は え ば る ー ち ょ う

作詞 南風原 益徳
作曲 南風原 盛亨
編曲 与儀 盛亨

南風原町歌

（昭和46年4月18日制定）

伸びゆく夢よ 沖縄の
明日を呼んで 自治の郷
黄金の森も 美しく
あゝ 人の和の 花が咲く
われらが郷土 南風原町

はたらく汗よ 建設の
ちから寄せ合う 意気と熱
そよ吹く風も さわやかに
あゝ 生産の 歌が湧く
われらが郷土 南風原町

溢れる希み はつらつと
あゝ 躍進の 雲が飛ぶ
われらが郷土 南風原町

明けゆく朝よ 南国の
空にかがやく 陽の光り
溢れる希み はつらつと
あゝ 躍進の 雲が飛ぶ
われらが郷土 南風原町



南風原音頭

南風原音頭

作詞 中村 弘
補作 南風原音頭選定委員会
作曲 杉本 信夫
編曲 照屋 林 賢

① かすりの娘の
ブーゲンビリアが
ここは南風原
豊かな町の
サッサ

※ 南風原音頭は 平和の音頭
みんなそるって うたえやおどれ
ユリテイク ユリテイク ドンミカセ
サッサ

② きみは南瓜で
かれはハウスの
土の香りが
働く汗も

③ 黄金森には
盆の踊りも
たのし獅子舞
燃えて景気も

④ 今は昔の
天女の伝説の
巡りたずねて
誓う心は

⑤ わした南風原
心ひとつに
踊る手と手が
町は文化の

笑顔にあげて
咲き匂う
かすりの里よ
夢を織る

ハッピーヤ イヤサッサ
(以下各節はやし略)

十五夜お月
にぎやかに
あの綱曳きに
湧きあがる

浦島太郎
御宿井
悲風の丘に
祈和の塔

うね御万人は
うちとけて
弥勒世まねき
花ざかり

（四分二十九秒）



南風原町 TOWN MAP

南風原町は12の字(あざ)から成る県内で唯一海岸に面していない町です。高速道路や主要幹線道路が通る交通アクセス抜群のエリアに位置しており、琉球かすり・花織等の伝統工芸や、かぼちゃやヘチマの生産地として知られています。また、各字に伝わる多くの民俗芸能や平和を伝える戦跡等が、世代を超えて守り、受け継がれており、豊かな自然と伝統文化に恵まれた町です。



1 黄金森公園陸上競技場・野球場



2 南風原町役場



5 宮城公園(ピュウリーランド)



3 琉球かすり会館



6 黄金森公園(はえるん広場)



4 南風原町立南風原文化センター



7 本部公園(野菜王国チンクワランド)



8 南風原中央公民館・図書館



9 ちむぐる館(総合保健福祉防災センター)



14 金城哲夫資料館(松風苑内)



15 飛び安里記念碑



10 はえばる観光案内所



11 ファーマーズマーケット南風原くがに市場



16 高倉



17 ウサン嶽(浦島太郎伝説)



12 かすりの道



13 沖縄陸軍病院南風原壕20号



18 照屋の石獅子(A)



20 照屋の石獅子(B)

南風原町は那覇市の東側にあつて、北部は首里と隣接しています。そのため、琉球王朝時代には、王族が南部へ行く際に必ず南風原町を通つたと言われており、交通の要となつていました。現在の南風原町を見ても東西南北へ連なる主要幹線道路があり、人や物流の重要な位置になつています。



第32代かすりの女王(左から) ●ミセスあいぞめ 諸見里 紗織(もろみざと さおり) ●ミスブーゲンビリア 宮城 奈実(みやぎ なみ)
●ミスあいぞめ 玉城 舞歩(たましろ まいむ) ●ミスブーゲンビリア 具志堅 萌子(ぐしけん もえこ)



琉球かすりの特徴と技法

琉球かすりの大きな特徴は、およそ600種という多彩な図柄。これら爽やかな涼感をさそう幾何学模様の図柄は、琉球王府時代から伝わる「御絵図帳」をもとに、職人たちが現代の感覚を取り入れて、オリジナルをつくりあげます。

この図柄をもとに、糸を染め上げる時、少しずつ束ねた糸を計算された間隔で、模様の部分で1カ所ずつ手括りでしめあげていくという大変手間のかかる方法で、独得の縞模様をつくります。

織りは、緯糸を経糸の間に杼(ひ)を通して織っていく昔ながらの技法で、1日に2mぐらいつづ丹念に織りあげていきます。

Characteristics and techniques of Ryukyu Kasuri

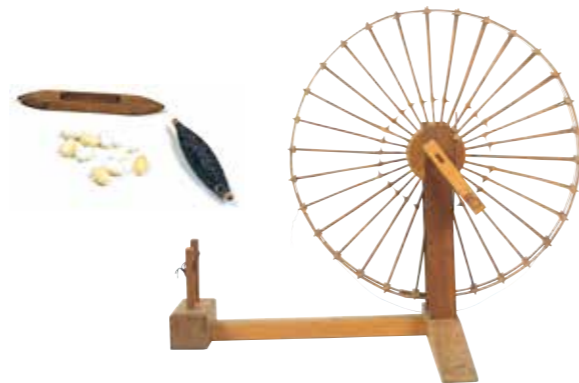
The major characteristic of Ryukyu Kasuri is the approximately 600 types of multi-colored patterns. Geometric pattern designs reflecting fresh and cool feelings have been transmitted since the Ryukyu Royal Administration period according to a "Miezu-cho" - a design book, artisans incorporating contemporary senses to create originals fabrics.

With those designs as backbone, before dyeing the whole threads, each design part is hand tied one-by-one at calculated intervals on threads that are little by little tied up in bundles. This method requires a great deal of time, yet allows for the creation of unique Kasuri designs.

The fabric, woven by throwing weft threads in between warp threads, is made by utilizing an old technique, enabling one to at best meticulously weave approximately 2 meters of fabric per day.

琉球かすり

RYUKYU KASURI



ひと糸、ひと織、丹念な手仕事の美
琉球の技と心が、南風に乗って…

琉球かすりの歴史

遠くインドに源を発し、東南アジア各地に広がった縞が、琉球王府の大交易時代の波に乗って、沖縄に入ったのが14～15世紀ごろ。それ以後、中国・日本や東南アジアの影響を受けながらも、琉球の気候・風土に合った独自の縞が沖縄各地でつくられ、その縞が、海を越え、薩摩縞、久留米縞、米沢琉球縞、伊予縞など日本の縞のルーツとなりました。

琉球王府時代から織物の産地として知られた南風原は、たえまぬ技術導入・改良と職人たちの努力を、営々と積み重ね、現在では「琉球かすり」のほとんどが南風原町でつくられています。これからも「琉球かすりの里」として、祖先から受け継いだ伝統と時代に合った感覚で、永く愛される縞をつくり続けていきます。

History of Ryukyu Kasuri

Originating in far-away India and spreading throughout Southeast Asia, kasuri (ikat) entered what is now Okinawa from the 14th to the 15th century, when the islands were ruled by the Ryukyu Kingdom and enjoyed a thriving trade. There gradually developed a distinctive style of kasuri production in all parts of Okinawa that, while exhibiting Chinese, Japanese, and Southeast Asian influences, was adapted to the unique Ryukyu climate and culture. This Ryukyu kasuri crossed the seas and formed the roots of Satsuma, Kurume, Yonezawa Ryukyu, Iyo, and other types of Japanese kasuri.

The town of Haeburu has been renowned as a major site of kasuri production since the days of the Ryukyu Kingdom. Thanks to the constant introduction and refinement of technical know-how as well as the unflagging efforts of craftsmen over the generations, almost all Ryukyu kasuri is now produced in Haeburu. As the cradle of Ryukyu kasuri, the town is committed to continued production of kasuri articles that will long be cherished by their owners, by combining the tradition carefully passed on from ancestors with esthetics attuned to the times.



琉球かすり会館

【琉球縞事業協同組合】



琉球かすりの普及活動と販売、後継者育成の場として、かすり事業の拠点となっています。展示販売のコーナーの他、見学や機織りの体験をすることもできるので、親子連れで伝統工芸「琉球かすり」を学ぶことのできる絶好のスポットです。

南風原町字本部 157
会館時間▶9:00～17:00(閉館 17:30)
休館日▶日曜・祝日

TEL : 098-889-1634
FAX : 098-889-2275



かすりが出来るまで

- 1 種糸とり**
御絵図帳や他のかすり図案を参考にして独自の拵図案を作成する。
- 2 整経**
経糸と地糸を割り出しそれぞれ適切な長さに整経する。種糸を1本に長く伸ばして整経台に張り種糸に合わせてかすり糸を整経する。
- 3 かすり括り**
あらかじめ種糸を作り、それに従って手でかすり括りを行う。
- 4 染色**
琉球藍、福木、グール、テカチ等の植物染料を用い多彩な色を染色する。
- 5 綜絢掛け**
巻き終えた経糸を左側から順序よく、割竹を使って綜絢掛けを行う。
- 6 製織**
木製高機により手投げ杼を用い、かすり柄を合わせながら織る。
- 7 製品検査**
織り上げられた琉球かすりは、製品検査場で、全製品、長さ、幅、量目、織り、地合、染料等について、ベテランの検査員によって厳重な検査を受けます。



かすりの道

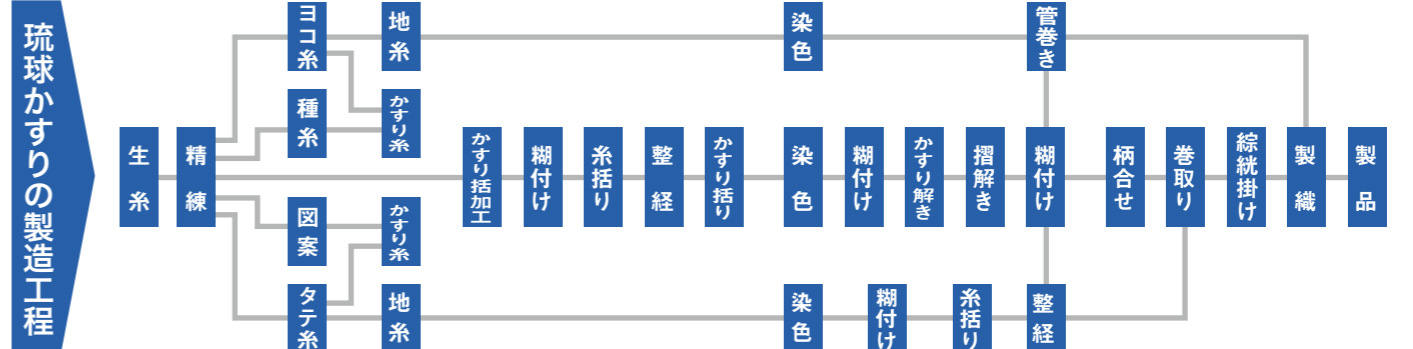
南風原町の「照屋」・「本部」・「喜屋武」の3つの集落は古くからかすり産業の盛んな地域として栄え、織物の工房や糸張り作業場などが集まっています。古い時代の情緒が残るこのエリアは『かすりの道』として整備され、一周約2kmにおよぶ石畳の歩道には「琉球かすり」模様と民家の壁にかすりの図柄がほどこされているのが特徴です。地元ガイドの案内で散策する『かすりの道まちまい』などのイベントも開催され、「織物のまち・南風原町」を体験できる散策ルートとなっています。



「かすりの道」周辺の民家の壁にはかすりの図柄がペイントされ、そばに添えられた図案の解説を読むと散策しながら琉球かすりについて学ぶことができます。ペイント柄は町内の小学生の手によって描かれたものです。

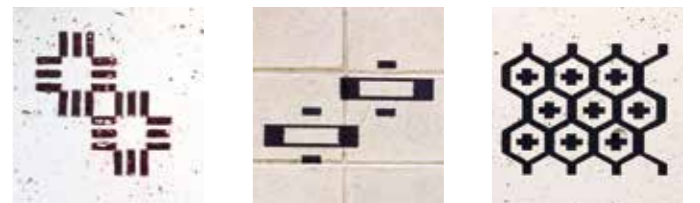


本部集落にある「かすりの道」(古民家謝名家裏通り)



琉球王府の「御絵図帳(みえずちょう)」に定められた600種もの多彩な図柄。ひとつひとつの図柄に意味があります。

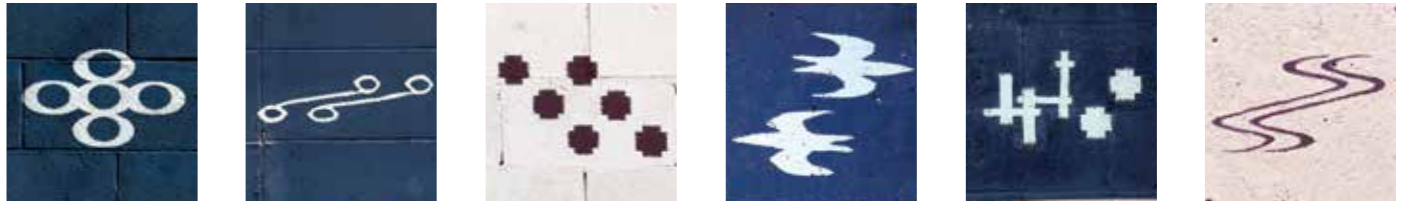
琉球かすりには多彩な幾何学模様が織り込まれています。植物・動物・生活用品などをモチーフにした模様で、琉球王国時代の「御絵図帳」を元に、職人たちが現代の感覚を取り入れてオリジナルをつくりあげます。「御絵図帳」とは、絵図奉行によってまとめられた図案集。琉球かすりが貴重な貿易商品だった時代、王国に収める貢納布を織らせるために模様や染色などを細かく指定したものです。



ハナアシー
三筋を織り合わせて、花の形を2つ、段違いに並べた文様。

ミミチクートニー
耳付き(取手付き)のエサ箱や湯船などの四角い容器のこと。

ビククー
ベッコウをあしらった吉祥文様で、長寿祈願の思いを込めている。



イチチマルグム
5つの丸い雲を表現した文様。琉球かすりの代表的な柄のひとつ。

ティージクンピーマー
握り拳に似た文様。かすりとかすりをつなぐ小かすりとしてよく用いられる。

プリプサー
経かすりと緯かすりの重なりで地色との対比を強調。夜空の群星を表現。

トウイグワー
2羽で飛ぶ鳥小を表した文様。琉球かすりの中で最も多く用いられる。

経緯かすり(たてよこがすり)
ハタに似たかすり2つの四角は、かすり全体にバランスよく配置される。

カキジュー
ナベなどをつるしてかけるもの。本土では流水と呼ばれる模様です。



1 大城廣四郎織物工房(本部) 2 大城織機製作所(本部) 3 手織工房おしる(照屋) 4 仲村トミ子(喜屋武)

南風原良品

琉球かすりと南風原花織の伝統工芸品から栄養豊富な食材で作られたおいしいもの、ユニークなアイデアが詰まった特産品まで、南風原良品が揃っています。

琉球かすり

【琉球かすり会館】
☎ 098-888-1634
📍 南風原町字本部157

伝統の琉球かすりを身近に楽しむアイテムが勢ぞろい

南風原町は昭和52年に日本全国へ「琉球かすりの里」を宣言したかすりの産地で、町内の本部、喜屋武、照屋の3カ字を中心に生産されています。昭和55年には「琉球かすり会館」が建設され、原料糸、染料、織物機材の共同購入、共同販売、後継者育成、技術研修などの事業を行っています。ひと織、ひと織、丹念に織られたかすりの他、かすりを使ったバック、袋物、ネクタイや最近ばかりゆしウェアも好評です。



yu-i FACTORY (ゆーいふあくとりー)

☎ 098-888-0126 📍 南風原町字新川583

「沖繩初産ハブ革」の魅力がyu-i FACTORYから世界へ

沖繩初のハブ革・ハブ骨を使った新たな工芸品の創作に取り組んでいる工房。沖繩で駆除されたハブだけを活用し、鞆(なめし)・製骨など素材からデザイン製造までを一貫して行っています。お洒落なデザインアイテムに金運UPの効果が高いと言われるハブ革素材と、魔除け、厄除けの効果としてのお守りになるハブ骨を使用したアイデア商品が評価され、2014年、2017年に商工会特産品コンテストで最優秀県知事賞を受賞しました。

南風原花織

【琉球かすり会館】
☎ 098-888-1634
📍 南風原町字本部157



母から娘と伝わっていった伝統技法

南風原花織の技法は明治の頃から母から娘へと伝承され、その後大正時代には喜屋武八織、照屋花織など独自の花織、浮織の技法を確立しました。南風原花織の特徴は、染色に県内の琉球藍、福木、テカチ等の植物染料を用いることです。また、ヤシラミ織、クワンクワン織、タッチリリーなど、産地にしか存在しない名称があり、その模様は花のように美しく多様な色彩の花糸を使った立体感のある浮き柄が魅力的で、高い人気を得ています。



【写真上】「書」と南風原町特産「琉球かすり」とのコラボ作品
【写真下】南風原特産品のパッケージをデザイン
※作品は「はえばる観光案内所」で販売中

ふで工房一書

📍 南風原町字津嘉山 1467-10 MKビルII 202 (2階小料理・うた酒処 恵)
☎ 090-1513-1143

世界に一つ! 一期一会の想いを書に込めて...

感謝の気持ちや、伝えたい想い・願いをオリジナル書体「you 癒書(ゆーしゅ)」に込めて届ける書人(かきんちゅ)の野原恵子さん。お客様の声と想いを聞き入れ、ポエムやポストカード、しおり等にしたためられた「癒書」には人の心の暖かさや素直な気持ちにさせる幸福感が伝わってきます。世界に一つだけの作品として贈り物として喜ばれています。また、出張教室も開催しており、文字の楽しさを伝えています。



※作品は「はえばる観光案内所」でも販売中

窯元 南風窯(ふえ〜がま)

📍 南風原町字津嘉山210番地
☎ 098-888-5180 携 090-7154-3747

ぬくもりと愛らしさのある陶芸品

シーサーを専門に、花器や、酒壺などを制作する仲村渠さん。ほかにも、ガンジューシーサー、カラオケシーサー、ランプシェードなど、他にはないユニークな作品を創作しています。今にも動き出しそうなシーサーはどれも、表情や色が違い見比べているだけで時間が過ぎてしまおう。ご自宅の趣味や部屋に合わせたお気に入りを探しに来てください。陶芸体験も開催しています。

南風原産かぼちゃ

南風原町のかぼちゃは高級料亭でひっぱりだこ!

南風原町の特産品といえば、なんといっても「かぼちゃ」です。県内でも高品質のかぼちゃとして有名です。南風原町で生産されているエビス種の西洋かぼちゃは柔らかくて味がよく、完熟すると糖度が20度をこえる強い甘みが特徴です。「津嘉山完熟かぼちゃ」「南風原かぼちゃ」のブランド名で、県外の高級料亭などへ出荷されています。県内でも入手しにくい「幻のかぼちゃ」と言われています。



はえばる美瓜

食用へちまの生産日本一!

南風原町は食用へちまの生産量が日本一。沖縄の方言でへちまは「ナーベラー」と呼ばれ、野菜の収穫量が減る夏場には貴重なビタミン補給源となってきました。へちまの中でも南風原で生産されるものは「はえばる美瓜(びゅうりー)」と呼ばれ、加熱するとふわふわの柔らかさとツルとした食感が特徴です。沖縄では味噌煮や炒め物に入れるのが昔からの定番ですが、最近はピクルスにしたり、カレーや麻婆へちまなど、食材としての幅が広がっています。町では「はえばる美瓜」のレシピコンテスト等も開催しPR展開中!

「はえばる美瓜」を宣伝するキッズダンスチームが「Beaury's(ビュウリーズ)」南風原町から「へちま大使」に任命され、町内外のイベントでPR活動をしています。



沖縄子育て良品株式会社

沖縄県島尻郡南風原町宮平259-101
☎098-996-2550

赤ちゃんから使える!
保湿性・抗菌性、リラックス効果も期待できる

サロンのように新米ママたちが楽しく集うショップ「沖縄子育て良品」。期待の声をうけて誕生したのが「おきなわラベンダーバームミニ」「おきなわティーツリーバームミニ」。その有効成分は自然界のものばかり。「みつろう」という、蜂の子やホホバオイル、マカデミアナッツ、シアバターなどが主です。これらには、高い保湿性をそなえ肌への浸透性が深いのが特長。また、沖縄で古くから抗菌作用があると親しまれている「月桃」の精油をさらに配合。「おきなわラベンダーバーム」はリラックス効果の高い爽やかでフローラルな香り、癒しのしっとりお肌に。「おきなわティーツリーバーム」は抗菌作用の強い爽快感のあるスパイシーな香りですっきりつやつやのお肌に。

月桃をはじめ沖縄産の自然素材にこだわり、合成保存料や合成香料は一切無使用。



スターフルーツ

スターフルーツの花はピンクの小さなかわいらしい花を咲かせます。

星形の切り口が愛らしいフルーツ

かわいらしい星形の切り口と爽やかなクセのない甘さが特徴の「スターフルーツ」。食物繊維が豊富で、ビタミンCも多く、抗酸化作用により風邪予防・美肌効果にもよいとされるほか、整腸作用も高く栄養たっぷりの果物です。県内の生産量のうち約70%を南風原町が占め、今後も様々な特産品の開発などに期待されています。2015年、出荷計画や増産計画などの取り組みが評価され、南風原町をスターフルーツのモデル産地として沖縄県から拠点産地の認定を受けました。



◆和名：極楽鳥花
◆最盛期：春から秋
◆町内生産量：年間60万本
全長は短いもので30cm、長いものだと2mにもなります。

ストレリチア(極楽鳥花)

南国の切り花の女王
「輝かしい未来」を予感させる花です。

優美なフォルムと鮮やかなオレンジ色で、トロピカルな切り花の代名詞として親しまれる「ストレリチア」。華やかな姿と縁起のいい名前や花言葉で全国でも高い人気です。南風原町では、年間に約60万本を栽培しており、その約95%が県外に出荷されています。南風原町にあるJA津嘉山支店(つかざん)では、1994年にストレリチアの産地宣言をしました。



NPO 法人南風原町障がい者支援センター
福祉事業所 **はんど in はんど**
南風原町字照屋1 ☎098-888-3224

糖みつの保湿効果でお肌しっとり、
お肌にも環境にも優しい石鹸です。

原材料には100%食用オリーブ油、パーム油、ココナッツ油を使い、廃油は一切入っていません。保湿効果にも優れているといわれる糖みつに抗菌効果や香り用として、月桃水と緑茶をブレンドしました。



仲里農園(なかざとのうえん)

南風原町字津嘉山1682番地
☎090-2710-2781

日本初「ヘナ」栽培加工に成功!

化学の力に頼らず、植物の色素だけで白髪を染められ、頭皮のケア・デトックスまでできる琉球ヘナは沖縄の豊かな自然からの贈り物。日本国内では栽培困難とされてきたヘナの栽培加工に成功させた代表の仲里盛雄さん。同時に開発した「琉球ブルー」は藍染めの原料となる植物インディゴを使用したもので「琉球ヘナ」と兼用することで、より美容効果の高い毛染め効果が得られるそうです。



ケーキのお店 Duo (デュウオ)

南風原町字津嘉山 1597-3 ☎098-888-3678

南風原かぼちゃをシュー&クリーム&クッキーへ。甘〜いかぼちゃ感がお口いっぱいに広がります

平成30年度「かぼちゃのエクレア」がはえばる良品に認定されました。その味わいにはパティシエ歴24年を誇るオーナーのこだわりが細部まで込められています。エクレアのシュー生地とクリームには自家製のかぼちゃペーストを練りこみ、さらにシューの上にかぼちゃのクッキーをプラス。仕上げに香ばしくローストされたかぼちゃの種をアクセントにすることでかぼちゃ感を満載に。中のクリームはペーストとホイップを二層にして軽やかな甘みを創出。おいしい南風原特産のかぼちゃが心躍るスイーツに大変身! さあ、自分へのご褒美に、お友達とのティータイムにぜひお召し上がりください。



瑞泉酒造株式会社

南風原町南風原町字宮平 303-2 ☎098-884-1968 FAX098-886-5969

老舗蔵元と“南風原”がコラボした銘酒泡盛

南風原町と県内の大手老舗泡盛メーカーの瑞泉(ずいせん)酒造とのコラボレーションから生まれたお酒が、琉球泡盛「南風原」です。2013年10月に開催された「はえるんフェスティバル」で町民投票により、試飲ラベル選定が行われ、南風原のお酒として誕生しました。南風原町内に酒造蔵を構える瑞泉酒造とタッグを組み、味やデザインを町民参加で作上げた地元メイドの泡盛です。通常タイプの他にも5年古酒タイプもあります。



大城野菜生産農園加工所

南風原町南風原町字津嘉山 456 ☎090-6867-5251

新鮮×良質な831(やさい)の旨みたっぷり口溶けなめらか、きれいな色味のヘルシージャム♪

収穫された野菜を加工し商品開発を推進しているのが「大城野菜生産農園加工所」です。南風原の高級かぼちゃを100%使用した「濃しカボチャ使って味わうスープの素」で、はえばる良品に認定され、「次に繋げたい」という思いからこのジャムが誕生しました。フレーバーは3つ。ヘチマとトマトとカボチャです。それぞれ県産シークワサー果汁を加え、味覚を爽やかに。野菜本来のリッチで爽やかな味わいが食卓に新しい風を呼びこむこと間違いなし!



モリンガファームさんご園芸

南風原町字神里 496-2 ☎098-889-5562 FAX 098-889-5564

奇跡の木、美容と健康に「モリンガティー」

モリンガは北インド原産の「ワサビノキ科」という科に属する植物。葉と花はお茶やハーブとして、種はオイルに、根は香辛料や漢方薬など利用価値の高いことから「奇跡の木」「薬箱の木」とも呼ばれています。さんご園芸では大地の恵みを活かした自然栽培方法で「モリンガティー」を商品化。腸内環境を整えるデトックス効果や、アミノ酸やギャバを多く含むことから精神安定やストレスを軽減させる効果があると言われてます。いろいろな料理や飲み物に入れてお使いいただけるよう粉末タイプもあります。



玉木製菓

南風原町字兼城 651-1 ☎098-889-1335

県民が大好きなお菓子「かめせん」「おかき」「えびせん」

●はえばる観光案内所・沖縄県内スーパー、コンビニエンスストアなどで販売中



かりゆし製菓

南風原町字兼城 288 ☎098-889-5010 FAX 098-889-5024

お麩で健康生活始めませんか?

くるま麩は、沖縄料理の定番、麩チャンプルーとして長い間、沖縄県民に愛されてきた食材です。炒めても崩れにくいように、小麦タンパク質であるグルテン量が多く、他の麩と比べて植物性たんぱく質、アミノ酸などの栄養価が高いことも特徴の一つで、低カロリー高タンパク質食品でヘルシーな食材です。



島ふ〜どグランプリ 2018 最優秀賞受賞商品「たまごパウンドケーキ キャラメル」

美ら卵養鶏場 南風原店

南風原町字兼城293 ☎098-889-1950

自慢の卵でつくるスイーツ

沖縄県の南風原町・沖縄市にある美ら卵養鶏場は、自社養鶏場の新鮮たまごをたっぷり使ったおいしいスイーツのお店です。保存料をいっさい使用していない甘さひかえめのケーキを一つひとついねいに手作りしております。島ふ〜どグランプリ2018 最優秀賞受賞商品「たまごパウンドケーキ キャラメル」卵黄を贅沢に使用したコクのある生地に自家製キャラメルとクルミ、仕上げに粗塩をプラスした優しい味わいです。



NPO 法人南風原町障がい者支援センター 福祉事業所 **はんど in はんど** 南風原町字照屋 1 ☎098-888-3224

卵と牛乳を使用しない子どもにも安心「からだにやさしいクッキー」

「からだにやさしいクッキー」は、南風原町特産のかぼちゃを粉末状にして使っている栄養満点の焼き菓子です。アレルギーをもつ小さなお子さんにも安心して食べてもらえるように、卵や牛乳は使わず、自然風味の優しい味をかかしています。他にも、にんじん入り、ひじき入りのクッキーをご用意。セットになった「からだにやさしいクッキー」はご贈答用にも喜ばれるお菓子です。

南風原町の 祭り&イベント

Haebaru Town Festivals & Event

伝統と新しさが人を熱くする。

先人から受け継がれた厳かな伝統芸能や、さまざまな世代がひとつとなって楽しめるイベントなど、南風原には守るべきものと新たに生み出されるチカラがうまく調和したエネルギーなまつりが開催されています。

Tradition and Innovation Drive the People of Haebaru

Majestic traditional performing arts handed down from our ancestors and enjoyable events bringing together many generations, these and other energetic festivals are held in Haebaru Town where preserved tradition and innovative power blend in true harmony.



喜屋武の綱曳き

南風原町の年間行事

- 1月 ●町成人式 ●新春マラソン大会 ●飛び安里(とびあさと)凧揚げ大会
- 2月 ●生涯学習・公民館まつり ●南風原物産展
- 3月 ●卒業式
- 4月 ●町功労・善行・よいこと沖縄一 ●入学式
- 5月 ●こいのぼり掲揚式 ●シニアスポーツ大会
- 6月 ●平和と戦争に関する企画展
- 7月 ●「青少年の深夜はいかい防止」「未成年者飲酒防止」一斉行動 ●ウチナーグチ大会 ●「少年の主張」南風原町大会 ●はえばる夏まつりキッズパーク
- 8月 ●綱曳き(町内各字)
- 9月 ●町陸上競技大会 ●町小中学生陸上競技大会 ●慶祝訪問 ●町敬老会
- 10月 ●町民平和の日 ●児童館まつり
- 11月 ●南風原総合文化祭 ●かすり駅伝小学生大会 ●はえばるふるさと博覧会(隔年) ●南風原青年フェスタ(隔年)
- 12月 ●教育の日 ●ちゅら島町内一斉清掃



津嘉山の綱曳き

綱曳き(各字にて開催) 8月

旧暦6月25・26日に各字で綱曳きが行われます。「真夜中のケンカ綱曳き」として県外にまで名をとどろかす喜屋武(きやん)の綱曳きのほか、旗頭や踊りが登場したり競技のルールが異なったり、ひとつとして同じ綱曳きはありません。イベント化された行儀にはない地域に密着した伝統と情緒を感じられることから、毎年多くの見物客で賑わいます。

綱曳きが行われる9つの字

- 宮城(みやぐすく) ■宮平(みやひら) ■本部(もとぶ)
- 与那覇(よなは) ■喜屋武(きやん) ■兼城(かねぐすく)
- 山川(よなは) ■照屋(てるや) ■津嘉山(つかざん)



兼城の綱曳き 龍蛇「シヤー」。シヤーの口から放たれる聖なる火は、災いや汚れを焼き清めると云われています。





「忠臣身替の巻一八重瀬」



狂言「ハイカラ娘」

津嘉山の組踊・狂言

津嘉山民俗芸能保存会は、かつて「十五夜遊び」で上演された棒術、舞踊、狂言、組踊などの伝統民俗芸能を次世代に受け継いでいこうと復活に力を入れています。

南風原町の 民俗芸能

Folk Performing Arts in Haeburu Town

南風原町には獅子舞や舞方棒のような一種のはらい(災厄を払う)芸能や八月十五夜の村あそびの中で伝承されてきた数々の芸能が残っています。どれも、先祖のこころを今に伝える貴重な財産です。

Intangible Folk-Culture Treasures

In Haeburu Town, the lion dance, stick dance and other types of purifying performing arts (to exorcise evil) along with amusements and traditional games are enjoyed on the night of August 15th. Many performing arts, which have been handed down, are being preserved and maintained. They are all precious treasures that communicate the spirit of our ancestors to the present day.

獅子舞【宮平・喜屋武・本部】

無形民俗文化財

沖縄に古くから伝わる一種のはらい(災厄を払う)芸能。南風原には宮平、喜屋武、本部に伝わっており、各字によって、型や獅子頭などに違いがあります。



宮平の獅子舞「マイイ手」

2014年、ハワイに残された資料をもとに復活(創作含む)



本部の獅子舞



喜屋武の獅子舞



兼城の二才踊り

アギ チク テン

「揚作田」

無形民俗文化財

二人組みの代表的な二才踊で、「御冠船踊」として、先祖代々から八月十五夜の「村遊び」において伝承されてきたものです。両手にゼイを持ち、腰を深く入れた構え、活発な足の運び、力のこもった手の振りなど、動きが力強く大らかで伝統の古さを感じさせる踊りとなっています。



ウフ シュ

「長者の大主」【喜屋武】

無形民俗文化財

旧暦八月十五夜の祭りなどに演じられる祝賀の芸能で、内容は120余歳の長者の大主が、八月十五夜遊びに招かれて、村の守護神である獅子加那志に子孫繁栄と弥勒世界報の祝言を述べ、多くの子孫たちに芸能を演じさせ祝い遊ぶというもの。喜屋武の住民が最も誇りとして代々継承してきた芸能で、南風原の民俗芸能を知るうえで極めて貴重な。



カシ カキ

宮平の女踊り「総掛」

無形民俗文化財

戦後、二曲組で演じられるようになった「総掛」のなかで、南風原町宮平の「総掛」は三曲三部仕立てとなっており、古典女踊りの伝統的な型を保持している貴重な芸能。



照屋の舞方棒



南風原町津嘉山の舞方棒

舞方棒

無形民俗文化財

【宮城・兼城・喜屋武・照屋・津嘉山・神里】

舞台や祭事などの場における清めの開幕舞踊で、力強い棒の舞いによって疫病・災害・悪霊を払う意味があります。南風原町では6つの字(あざ)で受け継がれており、それぞれに振り付けなどに違いがあります。



喜屋武の舞方棒



無形民俗文化財

宮城の狂言「銭借人」

ジン カ ヤー

約130年前から「十五夜遊び」の中で伝承された狂言のうちのひとつ。内容は、金持ちの伊計ペーチンから金を借り、返済を迫られ困った与那嶺が、新築したペーチンの家や庭の造りを褒めあげて上機嫌にさせ、「借用証文」をただで貰う沖縄口の妙味が満喫できる狂言の逸品。



本部のハーベールーモーイー

2014年に63年ぶりに復活した「ハーベールーモーイー」は男女の求愛を表現した踊りで、女性2人が花の役、男性2人がチョウの役を演じます。

文化財

Haeburu Town Designated Cultural Properties

南風原町の歴史を尊び、後世に残していきたい文化財

南風原町には歴史的に価値の高い、かけがえのない共有財産である有形・無形文化財、史跡、天然記念物が数多く残されています。町ではこれらを大切に守り育て、文化の香り高いまちづくりを進めています。

Respect for the History of Haeburu Town, Cultural Properties to Pass on to Future Generations

In Haeburu Town, there are many tangible and intangible cultural properties, historical sites and natural monuments that are community treasures of great historical value. We carefully protect and foster these as we endeavor to create a town with a rich historical flavor.



1 大名ヒージャーガーと石碑【大名】 史跡

首里に向かう旧街道道路脇のヒージャーガーピラと呼ばれる坂道にある共同井戸。碑文によると、この道路は雨天時に往來で渋滞するので1769年にこれを改修し、樋川を築かせたそうです。井戸の口は直径1メートルの楕円形をしており、井戸の横には漢文で由来を記した石碑があります。王府時代に久高島や斎場御嶽に向かうの王妃一行が休息のために立ち寄った場所とされ、この水のおいしさを褒めたたえ記念の碑を建てたという伝承もあります。



2 御宿井【宮城】 史跡

琉球石灰岩でできた井戸で、羽衣伝説が言い伝えられ、琉球国由来記(りゅうきゅうこくゆらいき)(1713年)と球陽(きゅうよう)外巻の遺老説伝(いろうせつでん)(1745年)に記されています。以前は生活用水として使用されていましたが、現在でも年中行事の際の拝所(うがんじゅ)として大事に守り継がれ住民の生活に密着しています。周辺からはグスク時代のフェンサ上層式土器や青磁、類須恵器が出土し、歴史的価値が高く評価される文化財です。



3 石獅子 有形民俗文化財【兼城・本部・照屋A・照屋B】

石獅子はそれぞれの集落にとって恐れや災いをもたらす場所に向けられており、集落を災いから守るフーチゲーン(邪気返し・魔除け)のために作られました。町内には4基が残されており、本部、兼城にそれぞれ1基、照屋に2基現存しています。フーチゲーンのほかには火事を引きおこすと信じられてきた山への返しヒーゲーン(火返し)の役目も果たしています。



3-1 本部の石獅子



3-2 照屋の石獅子A



3-3 兼城の石獅子



4 中毛小のガジュマル群【喜屋武】 天然記念物

喜屋武にある中毛小には、ガジュマルの老木が並び、互いの根が網の目状にからみつき、悠々と大地にそびえ立っています。樹皮には凸凹があり、コケ類が生ずるなど古木の風格が漂っています。町内には大木のガジュマルが群がって生育しているのは珍しく、残念ながら倒れてしまった木もありますが、喜屋武のシンボルのような存在で今なお誇らしく区民を見守っているようです。



5 沖縄陸軍病院南風原壕群(第1外科壕群・第2外科壕群)【喜屋武】 史跡

町内を見渡す小高い丘にある黄金森(こがねもり)。ここには、かつて第二次世界大戦時、日本軍が沖縄戦に備え構築した沖縄陸軍病院南風原壕群があります。院長以下、軍医、看護婦、衛生兵、ひめゆり学徒らがここで傷病兵らの治療にあたりました。南風原町は1990年、戦争の悲惨さを伝える証として、第一外科壕群・第二外科壕群を戦跡としては全国でも初めて文化財として指定しました。



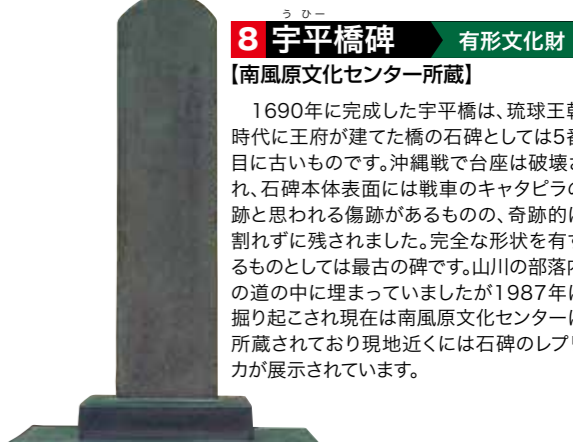
6 印部土手石【兼城】 有形文化財

印部土手石は、首里王府の時代から明治にかけて、田畑を測量する基準点として設定され、各間切に約300個あったといわれています。現在沖縄では100個余り発見されており、南風原町内からは松川原、川田原、け原(2点)の4個発見されています。首里王府時代の農業政策について知る手がかりになる貴重な文化遺産のひとつです。



7 修宮城橋碑【宮城】 有形文化財

与那原から首里・識名方向に向かう県道40号線、国場川上流にかかる宮城橋の近くに建っていた石碑。この道は現在でも与那原、佐敷、玉城などから首里に上る幹線道路になっており、かつて交通の要路として重要視された南風原を裏付ける貴重な文化財です。



8 宇平橋碑 有形文化財

【南風原文化センター所蔵】

1690年に完成した宇平橋は、琉球王朝時代に王府が建てた橋の石碑としては5番目に古いものです。沖縄戦で台座は破壊され、石碑本体表面には戦車のキャタピラの跡と思われる傷跡があるものの、奇跡的に割れずに残されました。完全な形状を有するものとしては最古の碑です。山川の部落内の道の中に埋まっていたが1987年に掘り起こされ現在は南風原文化センターに所蔵されており現地近くには石碑のレプリカが展示されています。

9 南風原間切番所跡のフクギ群【宮平】 天然記念物

1611年頃、琉球王府の尚寧王(しょうねいおう)が各間切りに番所(役場)を設置し、南風原間切番所もその時に設置されました。現在番所跡には道路に沿って6本のフクギの老木が残っており、町内では珍しい存在です。このフクギ群は樹高が約9m前後あり、胸高直径は71cmが最大です。正確な樹齢は不明ですが、上杉県令の「沖縄県巡回日誌」(1881年)ではすでに「老木のフクギ」と記述されていることから樹齢はかなりの古いものと思われる。



県指定文化財

摩文仁家の墓【大名】

摩文仁家は第二尚氏尚賢王の第二子尚弘毅(大里朝亮)を大宗とする家系で、その墓は南風原町の大名にあります。朝亮は尚貞王の時代に摂政を務め、その功績を認められ墓を拝領したとされています。丘の中腹を掘って墓は造られており、口は銀音聞きで、墓室内には6本の石柱が立ち、住居のような珍しい造りです。南風原町唯一の県指定文化財です。



歴史的文化財

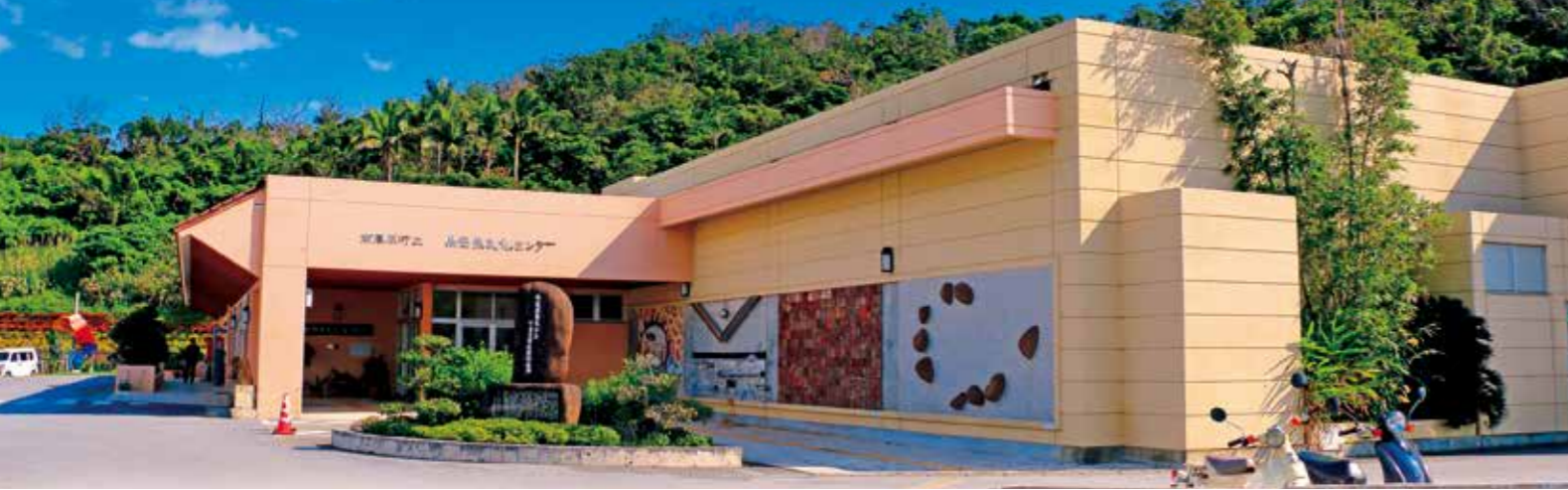
高倉【津嘉山】

200年以上の歴史をもつ貯蔵庫。沖縄戦の激しい戦火もくぐりぬけてきました。現在も、屋根の支え木に砲弾跡が。戦前の屋根は茅葺だったそうです。上にはお米などの穀物が、下には、牛やヤギなどの家畜を飼育していたそうです。この歴史ある高倉、現在も管理する與座家の倉庫として使われています。歴史の語り部でありながら現役という貴重な存在です。



南風原町立

南風原文化センター



南風原町の昔・今・未来を感じる博物館。

南風原町立南風原文化センターは、「戦争と文化は両立しない」の基本理念のもと、「継承・交流・創造」を柱に、町の歴史や文化の調査・研究・公開を行う専門機関としての活動をしています。また企画展や音楽会・講演会など、県内外との文化交流や平和交流を通して、平和について考え、町の芸術・文化創造の拠点となっています。

常設展示室には南風原が歩いてきた歴史を「沖縄戦」「戦後史」「移民」「暮らし」の4つのテーマで紹介しています。

沖縄戦のコーナーには、南風原陸軍病院壕を再現したジオラマや、壕から出土した遺留品が展示されており、沖縄戦当時の南風原の様子や人々がどのような体験をしたかを学ぶことができ、平和学習の場として活用されています。

企画展や各種事業も関係団体との連携を図りながら、地域の個性・独自性を県内・国内・海外へと広くアピールしています。

南風原町立 南風原文化センター

南風原町字喜屋武257番地

【開館】9:00~18:00

【休館】毎週水曜日・12月29日～1月3日

☎ 098-889-7399 FAX 098-889-0529

入館料		小学生	中学生	一般
南風原町の方は無料	個人	150円	200円	300円
※20名以上は団体	団体	100円	150円	250円

※団体は予約が必要です。



HAEBARU TOWN MUSEUM

In accordance with its basic philosophy that "war and culture are irreconcilable," the Haebaru Town Museum has followed its principles of "inheritance, exchange and creation" in playing an active part as an expert institution conducting surveys, researching the town's history and culture, and making its results available to the public. It also serves as a hub for the arts and cultural creation as well as for contemplating peace through scheduled exhibitions, music concerts, lectures and other activities for cultural and peace exchange both inside and outside Okinawa Prefecture.

The permanent exhibition room presents the historical path that Haebaru has taken across four themes: Battle of Okinawa, postwar history, immigration and livelihood.

In the corner focusing on the Battle of Okinawa, a diorama reproduces the Haebaru Army Hospital bunker. Personal effects, which were excavated from caves, are on display. Visitors are able to learn about the experience that people endured, and view scenes of Haebaru during the Battle of Okinawa. This corner utilized for peace studies.

While collaborating with relevant organizations on planned exhibitions and various other programs, the Haebaru Culture Center has made a broad appeal across Okinawa prefecture, Japan and other countries about the individuality and uniqueness of this community.

フロアー図



展示テーマ①「南風原の沖縄戦」

「南風原の沖縄戦」では、体験寝台、手術台、遺物、地形模型など、当時の様子をリアルに感じることができます。

沖縄陸軍病院で生き残った兵士や看護師の証言映像や、南風原陸軍病院で実際に使われていた医療品や日用品などの展示もあります。

また、奉安殿・忠魂碑の実物大模型や、学童疎開、移民と戦争について紹介しています。南風原町だけではなく県内の資料も広く紹介し、沖縄戦全体の動きを理解できるようになっています。



展示テーマ②「戦後・ゼロからの再建」

戦後史は、政治や社会の動きだけではなく、庶民のたくましい暮らし、さらには映画・マンガ・おもちゃなどの娯楽も紹介しています。

戦後生活の始まりの場であった収容所の展示から始まり、年表は県・町だけでなく字の出来事まで紹介し、写真や実物資料などを展示しています。

アメリカ統治時代「ゼロからスタート」した沖縄自らの手で勝ちとった、戦後の遅い歩みを知ってほしい貴重な展示コーナーとなっています。



展示テーマ③「移民」

ハワイ、北米、ペルー、ブラジル、アルゼンチン、ボリビアへの移民を紹介しています。

第一回ハワイ移民や第一回ブラジル移民、そして現在の各国の町人会の様子を展示しています。

貧しい時代に、大志を抱いて遙かなる国に渡って行った南風原の先輩達と、その子孫である2世・3世とのつながりを感じさせます。



展示テーマ④「人々の暮らし」

戦前戦後、物の乏しい時代に生きた祖先達の暮らしの知恵や工夫の様子を紹介しています。

人が生まれてから成長し、亡くなるまでの儀礼を「人の一生」として紹介したコーナーや、当時の民家や庭をリアルに再現した空間から当時の暮らしぶりを伺い知る事ができます。

壁全面には、時間とともに変わる空や、かつての田舎の風景、また黄金色の豊かな自然も色彩豊かに表現されており、懐かしさと暖かみのある古き良き時代を偲ばせるコーナーとなっています。



【企画ホール】

企画ホールでは、文化創造の場として、ミニコンサートなどの音楽会や、文化センターの特別企画展、個展、講座等の催物を開催します。(最大で150人収容可能)



【図書室】

図書館ではありません。あくまでも図書室です。南風原や沖縄に関する、歴史文献資料等をそろえています。



【ギャラリーさゆん】

南風原文化センターが収集した世界の織物や織機などを収蔵しています。個展などの小規模な展示会にも使用できます。

南風原と沖縄戦

Haebaru and the Battle of Okinawa



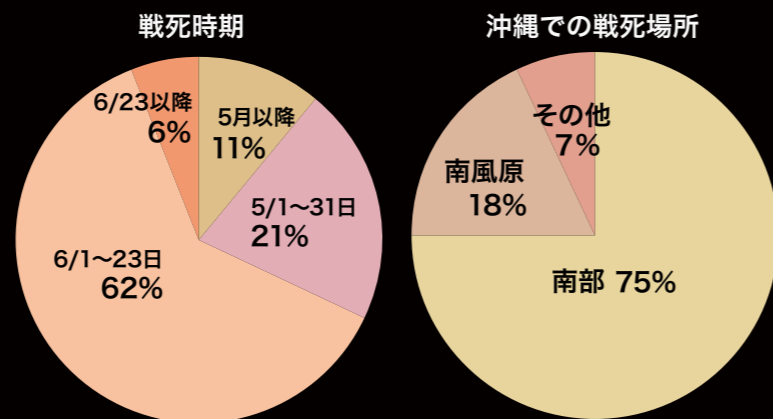
南風原村民の戦死状況

南風原村民の県内での戦死者は3505名(『戦世の南風原』より)です。戦死率は約44%で、およそ2人に1人は亡くなっています。中南部の市町村と比較すると戦死率は高い方になります。戦死者が一番多い所は砲弾の雨の中を避難した南部(摩文仁方面)が約75%、次に多いのが地元南風原村内の約18%です。

戦死時期は6月1日～23日が62%と最も高く、次に高いのが5月1日～31日の21%です。6月23日以後でも6%が戦死しています。

年齢別戦死率では60歳以上のお年寄りが最も高く、次に高いのは正規兵・防衛隊・義勇兵にとられた20～59歳の男子と続きます。10歳未満では年齢が低いほど戦死率が高くなっています。

こうした戦死地・戦死時期・戦死年齢の特徴は、住民を巻き込んだ地上戦闘の実態をあらわしています。



10月12日は「南風原町民平和の日」

過去の戦争で多くの町民の尊い命が失われたことや米軍占領下時代から現在までの歴史を教訓とし、二度と戦争を起こさないために日本国憲法と「南風原町非核地域に関する宣言決議」の理念の下に、全ての人が等しく平和で豊かな生活が送れるまちづくりを進めることを目的に「10月12日」を「南風原町民平和の日」と決めました。

終戦後1946年1月23日、大見武収容所(現与那原町)に南風原村役所が設置され、その後同年10月12日、地元(現南風原小学校)に移り役所業務の開始となりました。

その時期は、本土疎開者や九州へ疎開した児童の引き揚げ、再会の喜び等、焼土と化した沖縄・南風原の地で新しい時代を切り開いていく機運が高まっていました。そのことから戦争の悲惨さ、命の尊さ、平和の大切さを伝え発信するための日として「10月12日」を「南風原町民平和の日」としました。

戦場となった南風原

南風原は戦前から首里・那覇と島尻を結ぶ交通の要でした。そのため軍事的にも重要視され、前線に対する「後方陣地」として位置づけられました。

当初、津嘉山に配備されていた第32軍司令部は1944(昭和19)年の「十・十空襲」後、戦略の拠点を首里城地下へと主要な司令部機能を移し、高津嘉山には第32軍司令部経理部として武器や食糧の補給部隊、輸送部隊、負傷兵の治療を行う病院部隊が配備されました。また、兼城にあった南風原国民学校に沖縄陸軍病院が移転してきました。

1945(昭和20)年1月29日、大本営が沖縄戦を本土決戦準備のための時間かせぎ作戦として位置付けた事により、第32軍には中南部を戦略持久作戦の重要地として戦車部隊・重砲部隊・高射砲部隊・機関銃部隊などの戦闘部隊も配備されました。

こうして日本軍が南風原に配備されるようになると、村民の生活は軍事色に染まり、壕掘りや食糧の提供、弾薬運搬、炊事などに協力させられました。学校や公民館、大きな民家は軍に利用され、さらに慰安所も設置される等、南風原は「要塞の村」と変貌しました。

5月下旬、米軍との激戦の末首里の第32軍司令部が陥落。牛島満司令官らは南部撤退へと追い込まれ、摩文仁の司令部へと移動。この南部撤退が南風原の運命を大きく左右したとも言え、南部への避難通過点となっていた南風原の一日橋・宇平(山川)橋、兼城十字路・照屋の十字路には、日本軍の前線部隊や避難する住民が殺到した為、米軍による大砲や艦砲射撃による集中砲火的となり多くの命が失われました。これらは戦後「死の十字路」「死の橋」と、たとえられました。

南風原村民の戦死者約68%が6月以降である事から交通の要であったことが、南風原の犠牲を大きなものにしたという事がわかります。

Haebaru Turned into a Battlefield

After the US military air strike on October 10, 1944, the 32nd Army Headquarters, which had been deployed at Tsukazan at the outset, moved its key command functions to set up its strategic base in the lower levels of Shuri Castle. The 32nd Army Headquarters Accounting Division, comprising supply units for weapons and food, transportation unit and hospital unit providing treatment for wounded soldiers, was deployed to Kotsukazan. Also, the Okinawa Army Hospital was moved to Haebaru National School, which was at Kanegusuku.

On January 29, 1945, the Imperial General Headquarters, which saw the battle of Okinawa as a stalling strategy in order to buy time to prepare for a decisive showdown on mainland Japan, deployed tank, firearms infantry, anti-aircraft, machine-gun and other strategic units to the 32nd Army in central-southern Okinawa, which were important regions for its strategic hold-out strategy.

The Japanese army's deployment to Haebaru in this way infused the lives of village residents with a military hue. They were forced to cooperate in digging trenches, providing food, transporting ammunition, cooking and other support activities. Haebaru was transformed into a "fortress village" as schools, community centers and large private houses were commandeered for military use and even a military brothel was set up.

At the end of May, the 32nd Army Headquarters at Shuri fell after a hard-fought battle. Commanding Officer Mitsuru Ushijima and other officers were forced to withdraw to the south. The Tsukazan Headquarters bunker was moved to Mabuni. It could be argued that this southern retreat significantly affected the fate of Haebaru. As Japanese army front-line units and evacuating residents converged on Ichinichi bridge, Uhei (Yamakawa) bridge, Kanegusuku intersection and Teruya intersection, which served as transit points for evacuation, the US military concentrated its artillery and naval bombardments on these targets, and many lives were lost. After the war, these places were spoken of as "intersections and bridges of death."

Approximately 60% of the Haebaru war deaths were in June or later months. So, the fact that Haebaru was pivotal for transportation increased the number of Haebaru casualties.



沖縄陸軍病院「南風原壕群20号」見学の様子。
米軍による火炎放射器で焼かれた跡が生々しく残っています。

沖縄陸軍病院の概要

沖縄陸軍病院(球18803部隊)は1944(昭和19)年5月に熊本で第32軍の陸軍病院として編成され、6月から那覇市内で活動を始めましたが、同年10月10日に米軍の空襲で施設が焼失し、南風原国民学校校舎に移転しました。それ以降、第32軍野戦築城隊の指導のもとで、喜屋武(黄金森)と兼城(現在の役場北側の丘)に約30の横穴壕が造られます。

米軍の艦砲射撃が始まった1945(昭和20)年3月下旬には、陸軍病院は各壕へと移り、広池文吉病院長以下、軍医、看護婦、衛生兵ら約350人に加えて、3月24日には沖縄師範学校女子部・県立第一高等女子学校の生徒(ひめゆり学徒)222人が教師18人に引率され、看護補助要員として動員されました。

4月1日の米軍上陸後、外傷患者の激増に対応する為、外科を第一外科、内科を第二外科、伝染病科を第三外科へと改め、5月下旬には第32軍司令部は摩文仁(糸満市)への撤退が決定し、沖縄陸軍病院にも撤退命令が出されました。その際、重傷患者には青酸カリが配られ、自決の強要が行われました。

撤退後、治療活動は停止状態となり、将校以外の軍医や衛生兵は他の前線部隊に配置替えとなりました。病院本部は山城、第一外科と第三外科は伊原、第二外科は糸洲の自然壕になります。

山城の本部壕や伊原第一外科壕入口は爆撃され、糸洲第二外科壕や伊原第三外科壕は馬乗り攻撃にあって、多数の死傷者を出し、6月18日、広池文吉病院院長が直撃弾を受けて戦死し、沖縄陸軍病院は解散することになりました。

南風原町は1990(平成2)年、戦争の悲惨さを伝える証として、第一外科壕群・第二外科壕群を町の文化財(史跡)に指定しました。



撤退時に土の中に隠したと思われる医療薬品と顕微鏡が壕内に残っています。



現在の「飯あげの道」は平和学習のコースとしても整備され使われています。
右の写真は「飯あげの道」に行く姿を再現したマネキン(南風原文化センター内展示)



南風原文化センターの展示室には当時の壕内の様子が再現されている。幅90cmの棚が2段あり、入院患者のベッドとして使われていた。



臭いも証言の一つとして、「壕内臭気」を公開(証言を元に当時の壕内の臭いを再現)。血やうみ、体臭や排せつ物などが混じった強烈な臭いだったとされ、鼻を突く悪臭に吐き気をもよおす劣悪な環境だった事を追体験できます。(壕入り口受け付けで体験可能)

飯あげの道

「命懸けで食糧を運ぶ過酷な道」

沖縄陸軍病院壕への食糧(おにぎり)や水の運搬は看護補助要員に動員されたひめゆり学徒隊の仕事でした。黄金森(こがねもり)を登り、さらに下って現在の南風原文化センターの西側横を通り、集落の中にある炊事場までの約450mの道のりを「飯上げの道」と呼び、梅雨時の雨でぬかるんだ泥道を大量の砲弾が降り注ぐ中、2人ひと組で醤油樽に詰めた食糧を担いで運搬する命がけの過酷な作業でした。

運搬中に砲弾の土埃が樽に入り、中のおにぎりに土が混じった為「土が混じってガリガリしている」「量が少ない」と患者から文句を言われたそうです。

この「飯あげの道」も戦争当時を追体験できる場所として、病院壕と共に平和学習に活用されています。

足手まといになる重傷兵は死を強要された

証言

青酸カリを混ぜたミルク

師範本科1年第二外科勤務 津波古ヒサ 『ひめゆり平和祈念資料館 ガイドブック(展示証言)』

壕の奥にはランプが灯り、重傷患者がうめいています。「学生さーん、水下さい」と弱々しい声で叫んでいるのです。ためらっていたら4、5人の衛生兵が入って来て、そこらの空缶を集め、木箱の上に並べ、練乳缶を開けて中に水を足しています。「お手伝いしましょうか」とかけ寄りました。そしたら凄い表情で私をにらんで、「まだいたのか。今頃そんな所にいたらたた斬るぞ。敵はそこまで来ているんだ。何しているか」と怒鳴ったのです。私は壕入口に後ずさりしました。衛生兵は私たちに背を向け、ミルクを調合し、両手に4、5個ずつ持って壕の奥や横壕に入って行きました。壕内はシーンとしていましたが、しばらくすると急に興奮した叫び声が響いたのですよ。「これでも人間か。お前達のやることは」両足切断の患者がうわめいているんです。衛生兵はその患者を引きずって奥の方へつれて行きました。ミルクには青酸カリが入っていると気づいて騒ぎだしたのだと思います。

証言

異常な感覚が胃袋に走った

第一外科入院患者 岡 襄 『南風原町史第3巻 戦争編ダイジェスト版 南風原が語る沖縄戦』

青酸カリが配られたのは5月28日のことだ。衛生兵が来てミルクの配給があるから、入れ物を出せと言うので、私も飯盒のフタを出して置いた。壕の入り口の方からミルクが配られると、入り口の方で大きな声で騒いでいるのが聞こえた。喜んで騒いでいるのだと思った。そして、自分の所にもミルクがきた。ちょっとなめると非常に苦かったので、ナゲーラ壕で看護婦さんがくれた黒砂糖を飯盒の縁で削ってミルクに混ぜた。「まだ苦いな」と、隣にいた北海道出身の兵隊と二人で話しながら、「もうこれくらいいいやろ」と一気に飲み干した。そしたら目がグワーツとちらついてきて、息苦しくて、胃の中が煮えくりかえる感じがした。「こりゃ毒や」と気づくと、水筒の水を飲み、指を突っ込んで吐いた。2~3回繰り返した。北海道の兵隊さんにも吐かせた。他の患者は一気飲みしたのか、始めは苦しんでいたようだが、もうシーンと静かになっていた。「殺される」と思った瞬間、不思議な事にそれまで動けなかった体で立っていた。走り出した途端、後ろから「コラー、誰だ、逃げるのは一っ」と怒鳴られ、ピストルの音が何発も聞こえた、壕は真っ暗なので当たらず逃げる事ができたが、北海道の兵隊は山川橋200~300メートル前まで行ったところで艦砲射撃に吹っ飛ばされてしまった。



津波古ヒサさん(故人)は「戦争の悲惨さ、愚かさ、そして命の尊さを後世に伝え残したい」という強い思いで証言活動を行ってきました。
(ひめゆり平和祈念資料館 第2展示室)



「南風原陸軍病院壕跡」碑

「重傷患者二千余名自決之地」と刻まれているが、2000余名は南風原壕群の収容人数であり、青酸カリによって殺害された人数は不明である。

南風原平和ガイドの会

◎第36回琉球新報活動賞
社会活動部門受賞(2014年)

2007(平成19)年6月18日の20号壕公開に伴って、4月に結成したのが南風原平和ガイドの会です。第1回養成講座の受講生を募集したところ、定員の3倍にあたる町内外の60名が応募するという、関心の高さが伺い知れました。これまで10回養成講座を開催し、現在は約60名が、陸軍病院壕を通して戦争の悲惨さや平和と命の尊さを伝えるという大きな使命を持って、壕のガイドを担っています。



各字ごとにガイドマップも作成し「南風原文化センター」や隣接する「はえばる観光案内所」で入手できます。

町内各字の歴史や文化、見どころをまとめた字マップや黄金森周辺の戦跡マップ等を作成し、町の観光事業にも大きな役割を果たしています。

沖縄陸軍病院南風原壕群20号 見学希望の方へ

- 個人および団体とも予約制
- 見学は有料(要確認)
- 公開時間 ▶ 9:00~17:00(見学受付は16:30まで)
- 休 壕 日 ▶ 毎週水曜日 12月29日~1月3日
- 一度に入る人数は10名以内
- 常駐ガイドによる案内
- ヘルメット&懐中電灯(現場無料貸出)
- 見学時間約20分程度



問い合わせ・予約
南風原平和ガイドの会
(南風原町立南風原文化センター内) ☎ 098(889) 7399



上空から見た沖縄陸軍病院南風原壕群(黄金森)

南風原町の戦跡

Battle Sites in Haebaru Town

今なお残る戦争の傷跡

南風原には、映画「ひめゆりの塔」の舞台となった陸軍病院壕をはじめ、沖縄戦の証である戦跡や慰霊碑が各字に点在しています。悲惨な戦争の「記憶の継承」と、「恒久平和」への願いを含め、南風原町では戦跡を「平和学習」の場として活用しています。

Scars of War Still Remain

Along with the Army Hospital Bunker which served as the site for filming "Himeyuri-no-To (Tower of the Lilies)," Haebaru Town is interspersed with battle sites and memorial monuments that serve as witness to the Battle of Okinawa. Haebaru Town actively uses these battle sites as places for "peace studies" to pass on the memories of what happened during that terrible war and pray for "eternal peace."

2 第32軍司令部 津嘉山壕群

第32軍が津嘉山に構築した総延長約2,000mの人工の司令部壕。およそ3千人もの兵士らが配属され、16人のひめゆり学徒も動員されていました。1944(昭和19)年夏頃、陣地構築専門の野戦構築部が中心となり、南部の住民を徴用して構築。同年の米軍による「十・十空襲」後、第32軍は新たに首里城地下に司令部壕を構築して、作戦の指揮の中枢は首里へと移されたため、津嘉山壕群には、経理部・兵器部・法務部・軍医部の一部が配備されました。



聞き取り調査による想定図



南風原平和ガイドの会による20号案内の様子



20号壕入り口



24号壕入り口跡(現在は落盤状態)

1 沖縄陸軍病院 南風原壕群

南風原町には黄金森(こがねもり)とよばれる小高い森があります。日本軍は沖縄戦に備え、黄金森に沖縄陸軍病院壕群を構築しました。院長以下、軍医・看護婦・衛生兵・ひめゆり学徒らがここで傷病兵の治療に当たりました。南風原町は沖縄戦の記憶を伝えるために、1990年に沖縄陸軍病院南風原壕群を文化財に指定し、陸軍病院壕20号を一般公開しています。日本全国で初めて第二次世界大戦の戦争遺跡を文化財に指定しました。



那覇IC料金所

3 ナゲラ壕【第62師団(石部隊)野戦病院壕】

新川に構築された全長約200~300mほどの人工の野戦病院壕として手術室・薬品室・商務室・看護婦や将校の控室・患者室が設置され、看護のために首里高等女子学校のずいせん生徒と、沖縄昭和高等女子学校のでいご生徒が動員されました。現在、壕は沖縄自動車道那覇インターチェンジ料金所周辺に一部残っています。

南風原に配備された主な部隊

1944(昭和19)年夏以降に配備された部隊



悲風の丘(黄金森)



大東亜戦争戦没者の慰霊塔(兼城)



弾痕(津嘉山の塀)

物量作戦で挑んできた連合軍は、鉄砲弾を「雨」のように降らせました。その弾痕は、津嘉山の民家の塀や山川の水タンクの壁(現在は南風原文化センターで常設展示中)に、その痕跡が生々しく残っており。砲弾の威力を見つけています。



イーチキの御嶽(現津嘉山小学校体育館隣)

戦前、天皇が教育の基本精神を示す教育勅語が国民に求められました。琉球古来より神聖な信仰の場としての御嶽にも鳥居が設置され御嶽は神社化されました。戦時中は戦勝祈願や出征兵の壮行会を行う場となり、国家神道の浸透に利用されました。

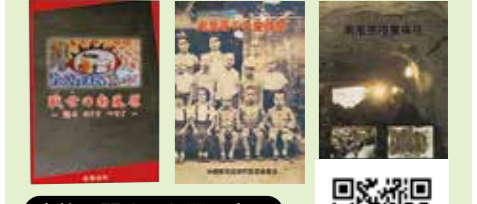
「慰霊祈和の塔」と「町民平和の礎刻銘板」

「慰霊祈和の塔」は戦死した兵士や住民をまつる忠魂碑として1966年に建立。2010年に沖縄戦を含む15年戦争で犠牲になった南風原村(当時)出身者4,481人を刻銘する「南風原町平和の礎」の建立に伴い「慰霊祈和の塔」も改修されました。礎には犠牲となった南風原町民を各字ごとに刻印しています。



南風原町電子図書館 電子書籍

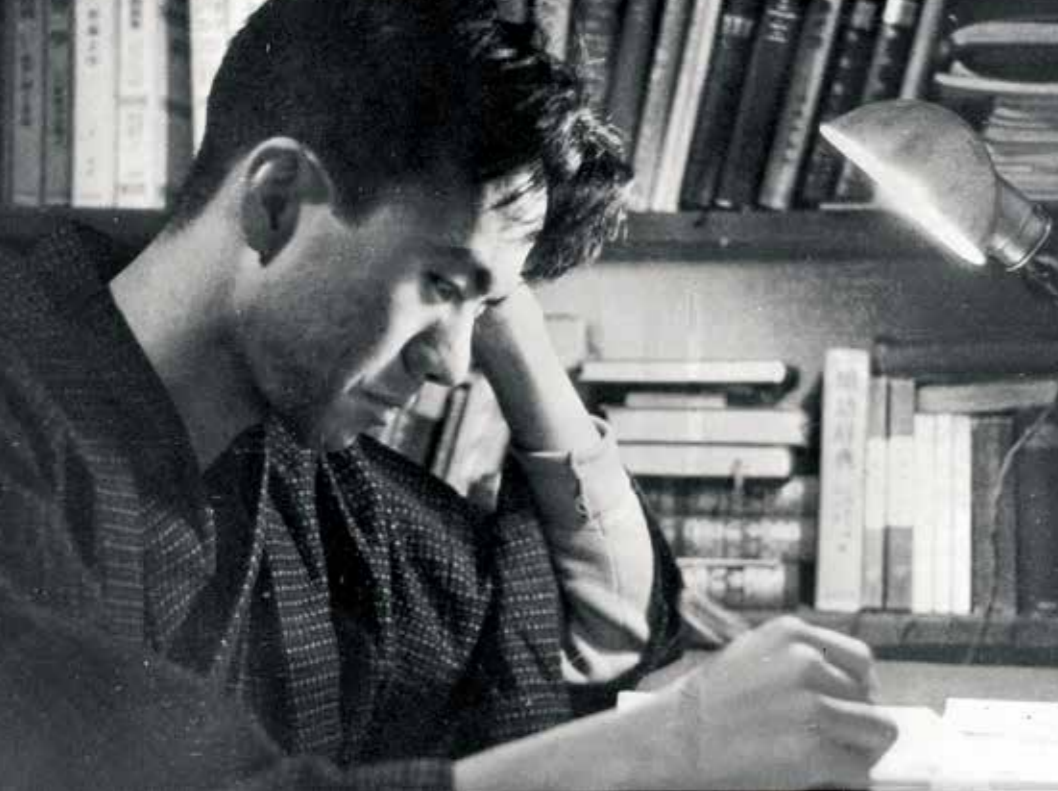
『南風原町の戦争関連資料』が電子書籍にて閲覧できます。



書籍に関するお問い合わせ
南風原文化センター
☎ 098-889-7399



※利用できる方▶南風原町内に在住・在勤・在学の方。



金城哲夫資料館(南風原町津嘉山：松風苑内)

ウルトラマンシリーズの 脚本を手掛けた沖縄を代表する 脚本家・演出家のひとり

きんじょう てつ お

金城 哲夫

1938(昭和13年)に津嘉山で生まれ、特撮で知られる円谷プロでウルトラマンシリーズの企画立案、メインライターとして脚本を手掛けた。沖縄方言や沖縄をイメージさせる怪獣や題材を取り入れ、チブル星人(方言で頭)、ジラスー(次郎父さんをもじったもの)という怪獣は有名です。それ以前は映画「吉屋チル物語」製作や、沖縄に帰郷後は沖縄国際海洋博覧会の演出を手掛けましたが、昭和51年、37歳の若さで死去しました。

南風原人物列伝

世界で初めて空を飛んだ人、ウルトラマンの生みの親のひとり、海外で活躍した人たち。南風原には誇りにする人がいっぱいいます。

ブラジル日系人初の歯科医として活躍

きんじょう やま と

金城 山戸

1893(明治26)年、南風原村津嘉山生まれ。1908年、当時まだ14歳の彼は第1回ブラジル移民として遠くブラジルの地へ渡りました。一緒に移民した2歳年下の儀保蒲太とは無二の親友でした。山戸は歯科医の奉公人として働き、その後勉学を重ね、日本人移民の中から初の歯科医師となり、現地ブラジルで活躍しました。彼は日系人社会だけでなく、現地の住民らの歯科医療にも貢献し、たくさんの人々から敬愛される人格者でした。惜しくもブラジル移民80周年の前日、1988年6月17日に95歳でその生涯を閉じましたが、その功績は今もなお現地で語り継がれています。



“夢を賭けた”第1回ブラジル移民、イッパチ

ぎほ かまた

儀保 蒲太

1895(明治28)年、南風原村津嘉山に生まれたイッパチは、日系人で最初の歯科医師になった津嘉山出身の友人、金城山戸らとともに、1908年、第1回移民としてブラジルへ移住しました。イッパチというニックネームは、この移民船・笠戸丸の中でつけられたようです。山戸とイッパチは幼なじみで、山戸は医師へ、イッパチは賭博の道へ入りました。花形賭博師として活躍したイッパチは、稼いだお金を困窮している沖縄県人に分け与えました。また日系人社会の福祉関係で篤志家としても知られています。



ブラジルで築き上げた大企業 PANCOの社長

よなみね きよはる

与那嶺 清照

1927(昭和2年)、宮城生まれ。9歳の清照少年は家族6人で日本を離れ、南米のブラジルの大地を踏みしめました。バナナ作りや野菜作り、カステラ製造会社、パン屋などの仕事をこなし家族で支え合っていました。16歳の時に父親を23歳の時に母親を亡くしてからはパン工場で働く傍ら、夜空いた釜を借りて独自のカステラを販売して生計を立て、やがて独立しました。常に創意工夫を重ね、インスタントラーメンやビスケットなどの商品も増やし、パン工場の敷地内に製品をパッケージするプラスチック工場や、機械修理場、金属加工工場などを兼ね備え、独自の勢力を伸ばしていきました。今では約7,000人の社員、ブラジル各地に9つの大規模な工場を持つブラジルのパン屋「PANCO(パンコ)」として一大企業を設立しました。

ライト兄弟より先に飛んだ男

飛び安里

18世紀後半、鳥のように大空を羽ばたいた人、それが南風原町津嘉山に住んでいた「飛び安里」です。津嘉山の仕立森(したいむい/現在の津嘉山小学校)から津嘉山公民館までの150m~200m近くを飛んだとされています。「鳥のように飛んでみたい」という人類の夢を実現させ、世界初の動力飛行で知られるライト兄弟よりも何と100年以上も前の快挙として語り継がれ、高津嘉山(たかつかざん)には初飛翔顕彰碑も建てられています。



飛び安里初飛翔記念碑(高津嘉山)



翼の1/2スケールレプリカ

どんな飛行機？

鳥のように翼を羽ばたかせながら飛ぶ「羽ばたき式飛行機」と呼ばれるもので、弓の弾力を活かし、鳥の翼を模した羽を付け、足を上下させて羽を動かしました。初飛行の時には予想以上に高度が上がってしまったため、命綱を託されていた妻が慌てて引っ張ったため、バランスを失って自宅の台所付近に落ちてしまったという逸話もあります。

「飛び安里」の人物像

人物については諸説あり、安里周富(あさとしゅうふ/1748~1799年)、安里周富(あさとしゅうとう/1765~1823年)、安里周祥(あさとしゅうしょう/1797~1867年)の3人が挙げられていますが、最も有力なのは周富です。琉球王朝のお抱え花火師だったとされていますが、その人物や設計図等の資料はわずかでしか、長年にわたりその偉業は伝承されており、資料集も南風原文化センターから発刊されました。

アルゼンチンで洗濯屋、コルドバ日本人学校の建設

おおしろ もりきち

大城 守吉

1895(明治25)年、兼城生まれ。ペルー移民から転じてアルゼンチンのコルドバ市で、洗濯店を経営しました。懇切丁寧な仕事は信頼を集め、仕事を軌道に乗せました。その後妻を呼び寄せ、もらい子の守徳を養子として育て、社会事業や慈善事業への多大な協力を惜しまない人格者でもありました。ところが、昭和12年に日本人学校の建設準備で帰国し、沖縄から香港経由でアルゼンチンへの帰途の際、停泊していた船にわたる小型船のボイラーが爆発して爆死しました。45歳の若さでした。



なかんだかり ちくべーちん

仲村渠 筑親雲上 手習所教育の先駆け

1833(天保3)年生まれ、善縄大屋子の子孫と言われる仲村渠筑親雲上が首里の大美御殿の奉公先で儒学筆算を習い、帰郷後仕事の傍ら、明治元年手習所を開き村の子弟に勉学の機会を与えました。明治31年に南風原村に小学校が創立されましたが、それ以前に教育が施されていたこととなります。今日でも宮平が教育部落と言われ、教育熱が盛んであるゆえんとして知られています。明治15年上杉県令の学事視察の際にも宮平の手習所の取り組みを賞賛され、教育の先駆けの地として、昭和53年に宮平公民館の敷地内に「手習所之跡」の碑が建立されました。



「手習所之跡」の碑(宮平公民館敷地内)

いとまん べーちん

糸満 親雲上 国頭の山賊を討伐する

1640(尚豊王19)年大干ばつがあり、宜野湾・北谷方面に田園が枯れ五穀も実らず、餓死者まで出るほどの被害がでました。その時、糸満親雲上は耕作奉行となって宜野湾から北谷の枯渇しそうな水田に水を引き、地元の人たちを安心させ、天災を防いだ人物として知られています。また、国頭に潜む山賊が道行く人の衣服を脱ぎ取ったり、人家の財物や牛馬を盗んだり住民を不安に陥れていたところ、琉球王府に命じられて山賊を彼の策略でみごとに討伐した賢人としても知られています。その子孫は、宮平から喜屋武にかけて多い赤嶺姓(山口門中)です。

南風原町の 民話

南風原には遙か遠い昔から
伝わる先祖の教えや
民話が数多く残っています。

絵：新垣 正宏

Haebaru Folktales

Haebaru preserves the lessons and folktales passed on to us long ago from our ancestors



羽衣伝説【宮城(みやぐすく)】

今から300年以上も昔のこと、宮城に大国子(でーこくしー)という人が住んでいました。ある日、野良仕事の帰り、どこからともなくいい匂いが漂ってきました。不思議に思いあたりを見回すと、御宿井(うすくがー)で美しい女の人が長い髪を洗っていました。あまりにも美しいのでしばらくみとれていましたが、やがて木の枝にかかっているきれいな衣に気づきました。大国子はこっそり近づきその衣を盗み、大急ぎで家へ持ち帰り、高倉に隠してしまいました。

大国子が御宿井へ戻ると、女はしくしく泣いています。声をかけると「髪を洗っている間に着物がなくなってしまったのです。これでは家に帰れません」と泣きながら言いました。大国子が「それでは着物が見つかるまで私の着物を着ていなさい。私の家はすぐ近くだからそこで休んでいなさい」と誘いました。

その後、二人は仲良く暮らし、やがて子供も生まれました。ある日、女は子供たちが歌っている子守唄を聞いて、羽衣が隠してある場所を知ります。羽衣を見つけて羽織ると、ふわっと空に舞上がり、どんどん天高く遠ざかって行きました。それを見た子供たちや村人たちは「くまどおー！くまどおー！」(ここだよ、ここだよ)と叫びながら追いかけてきましたが、女の姿は与那原の久場塘(くばどう)で消えてしまったそうです。御宿井には、今でも女のジューファー(かんざし)が落ちていると伝えられています。



御宿井(ウスクガー)

琉球石灰岩でできた井戸で、羽衣伝説が言い伝えられ、以前は生活用水として使用されていました。現在では年中行事の際の拝所(うがんじゅ)として大事に守り継がれ住民の生活に密着しています。



Legend of the Kimono of Feathers【Miyagusuku】

Over 300 years ago there lived a man named Dekokushi in Miyagusuku. One day, on his way home from working in the fields, he found a wonderful scent drifting through the air from out of nowhere. He looked around in wonder and saw a beautiful woman washing her long hair at Usukuga well. She was so beautiful that he found himself fascinated by her beauty. After some time, he noticed her beautiful kimono draped over the branch of a tree. Dekokushi quietly crept up and stole the robe. He hurriedly brought it back to his home and hid it in the storehouse.

When Dekokushi returned to the well, the woman was sobbing. He asked her what was wrong and she cried, "While I was washing my hair, my kimono has gone missing. Now, I cannot

return home." Dekokushi invited her, saying, "You can wear my clothes until your kimono is found. My home is close by, you can rest there."

From that day on, the two lived happily and, eventually, had children. One day, the woman heard a nursery rhyme that some children were singing and learned where her kimono had been hidden. She found her kimono and put it on, then softly drifted up into the sky going higher and higher into the heavens. The children and people of the village saw this and chased after her yelling, "There, she goes! There, she goes!" The woman is said to have disappeared around Kubadou in Yonabaru. Even today, people tell of an ornamental hairpin which the woman dropped at Usukuga well.



ウサンシー伝説【与那覇(よなは)】

ウサンシー(穂作根子)は気品の高い若者でした。ある日、与那久浜(よなくはま)でかもち(女性の髪に添えつける髪)を拾い、持ち主を捜していました。現れた持ち主はとても美しいお姫様でした。姫はとても喜んでウサンシーを善人だとほめ竜宮へ招きます。竜宮では時の立つのも忘れるほど厚いもてなしを受けました。

3ヶ月が過ぎた頃ウサンシーは帰ろうと思い立ちました。竜宮の神は「すでに三十三代という時間が経っている、ここで楽しんだらよからう」と止めましたが、彼は故郷が忘れがたく帰る事になりました。姫は名残を惜しんで「この紙包みを私と思い持ち帰ってどんな事があっても開けないでください」と手渡しました。

故郷に帰ったウサンシーを知る者はやはりいません。一人寂しく村の前の丘に登って行きました。そして姫からももらった紙包みを開けると中には白髪が入っていました。それがウサンシーの体につくとウサンシーは急に老化し死んでしまいました。ウサンシーはその場所に葬られ、その場所はウサン嶽(だき)と名付けられました。

この話は浦島太郎伝説に似た伝説として知られています。



ウサン嶽

「穂作根子(ウサンシー)の墓」と刻まれた墓標と香炉が納められた祠。海に面しない南風原になぜか浦島太郎伝説と似た伝説があるのは興味深い。



Legend of Urashima【Yonaha】

The legend of Urashima, which is rare in Okinawa, is still preserved in Yonaha.

Usanshi was a dignified and refined young man. One day, at Yonakubama beach, he picked up a hairpiece and sought to return it to its rightful owner, who, it turned out, was a very beautiful princess. The princess was very happy and praised Usanshi as a virtuous person and invited him to the Dragon Palace. At the palace, Usanshi received such a lavish welcome that he lost track of time.

Around three months later, it occurred to Usanshi that he wanted to return home. The god of the Dragon Palace stopped him, saying, "Thirty-three generations have already passed. Why not stay here and have fun?" However, he had never forgotten his home and decided to go back. The Princess reluctantly bid him farewell and handed him a package, "Please take this package home as a souvenir of me, but be sure that you never open it, no matter what."

When Usanshi returned home, there was no one he knew and no one who knew him. Alone and sad, he climbed a hill in front of the village. On the hill, he opened the package he had received from the Princess. Inside was a lock of white hair. When the hair touched his body, Usanshi suddenly grew old and died. He was buried at that same place, which came to be called Usandaki.



あらかま まさひろ
(与那覇出身) 新垣 正宏さん

読み上げは標準語版と子ども達に沖縄方言を守り伝える事も意識してウチナーグチ版も用意している。

子どもの頃、近所に「紙芝居」屋さんがあると胸をワクワクさせて見ていたという新垣さん。あの光景が忘れられず、自分でも紙芝居を作ってみようと思い立ち、南風原の歴史や民話を調べ絵も独学で学びながら紙芝居を作ったといいます。

「民話の中には町や村の成り立ちや人々の暮らし、山・川・海等の地理的な情報からその土地の歴史的背景が見えてくるんです」と話す新垣さん。今では学校や自治会からの公演依頼が増え、何よりも驚くのは「子どもと一緒に大人も目をキラキラさせて紙芝居を見てくれます。そう！私が子どもの頃見た光景が昔と変わらず残っているんです」とうれいそうな表情で話してくれました。



こがね は え さ と

ともにつくる「黄金南風の平和郷」

町民ひとりひとりがそれぞれの思いを表現し、夢や目標を実現できるような輝き続ける南風原町、恒久平和を願う南風原町を思いつけられた将来像テーマです。

【黄金南風】いつの時代もあせることなく輝き続け、豊かな実りと繁栄をもたらす風の吹く南風原を表しています。

【平和郷】先の大戦から復興を踏まえ、恒久平和を願う南風原を表しています。

- ① 自治・協働 | みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち
- ② 教育・文化 | きらきらと輝く人が育つまち
- ③ 健康・福祉 | ちむぐるでともにつくる福祉と健康のまち
- ④ 産業・雇用 | 工夫と連携で産業が躍動するまち
- ⑤ 都市基盤 | みどりとまちが調和した安全・安心のまち
- ⑥ 環 境 | 環境と共生する美しく住みよいまち

①

自治・協働

みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち



行動にうつす町

町では、すべての人が幸せな生きがいのある人生をおくることができるよう努めています。町民の声に、柔軟かつ迅速に対応できるよう、創意工夫をこらした積極的な運営を心がけております。



町長 赤嶺 正之



副町長 国吉 真章



教育長 新垣 吉紀

役場施設のご案内	
5F	議場・議会事務局・監査委員室
4F	教育長室・教育総務課・学校教育課・産業振興課 まちづくり振興課・都市整備課・区画下水道課
3F	町長室・副町長室・総務課・企画財政課・ 選挙管理委員会
2F	保健福祉課・税務課
1F	住民環境課・国保年金課・こども課・会計課
B1	書庫・倉庫



風景印 津嘉山郵便局

南風原町のPRキャラクターの「はえるん」を配し、南風原町津嘉山地区にて、人類史上初の有人飛行を成功させた「飛び安里」をイメージしている。

南風原町役場に設置された
かすり柄の郵便ポスト
(南風原中学校美術部の生徒が着色)



町民の声を町政に活かす

議員は町民の代表として選出され、町政の重要な事柄(条例・予算等)を審議・決定する大切な役割を持っています。

南風原町議会議員



議長 玉城 勇



副議長 大城 真孝



新垣 善之



岡崎 晋



石垣 大志



金城 憲治



大城 勇太



大城 勝



照屋 仁士



金城 好春



浦崎 みゆき



宮城 清政



赤嶺 奈津江



大城 毅



宮城 寛諄



知念 富信

南風原町議会では議会中継をしています

南風原町議会では、「開かれた議会」を目指すため、本会議のインターネット中継を行います。



議会中継をご覧になる方は、右記よりお入りください。▶

②

教育・文化

きらきらと輝く人が育つまち



2019年広島原爆ドーム前



2018年米軍上陸の碑(北谷町)



2020年ホロコースト記念館(広島)とリモート研修

南風原町子ども 平和学習交流事業

町内4つの小学校の6年生が集まり、沖縄そして世界の戦争について歴史を学び、平和・人権・差別問題について考えを深める事業です。2020年は、毎年行っていた広島ホロコースト記念館への訪問学習をリモートで行うなど、新しい学習方法を取り入れました。本事業は1994年から始まり、2020年までに282名が参加しています。



2019年10月 カナダ レスブリッジ クリス・スピアマン市長表敬訪問

青少年国際交流事業

青少年国際交流事業は、1993年にハワイへの青少年海外派遣から始まり、現地公立校への体験入学やホームステイをとおして、国際時代に対応する青少年の育成を目的に毎年実施しております。2000年に開催された九州・沖縄サミット時のカナダ首相との交流を機に、現在では隔年でハワイとカナダへ本町より派遣をおこなっています。



南風原文化祭の様子

生涯学習振興

中央公民館では、町民のみならずが学習・交流できるように施設設備の充実と事業展開を行っております。また、南風原町文化協会による定期的な公演会を行うなど、文化・伝統の継承活動にも積極的に取り組んでいます。



学習支援ボランティアの様子

学校応援隊はえばる

地域の人たちが、南風原町の各小中学校で学習支援ボランティアを行っています。学校教育の充実だけでなく、地域の教育力の向上・絆づくりに繋がっています。学校子どもたちを応援する気持ちを込めて、学校応援隊はえばるの愛称で呼ばれています。



沖縄トヨタOTMグループ提供 名古屋グランパス1ゴール10球キャンペーン

スポーツ振興

町では、健康づくり・仲間づくりの一環として、球技および陸上競技大会を毎年開催しています。2015年から始まった名古屋グランパス春季キャンプでは、プロサッカー選手との交流とおして児童・生徒の夢を応援する活動も行っています。

3

健康・福祉

ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち



ちむぐる館内 健康増進室



1歳半健診

健康福祉の町づくり

健康づくりの推進・子育て支援の充実・障がい者、高齢者支援の充実により、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。その実現に向け、ミニデイや健康増進室の設置を行い、ともに支え合う地域福祉の推進に取り組んでいます。



ちむぐる館【総合保健福祉防災センター】

「ちむぐる館」は、南風原町における保健活動や地域福祉活動の拠点として、また災害時の避難場所として2010年9月に開館しました。

町保健福祉課と町社会福祉協議会の事務所があるほか、健康器具などが置かれた健康増進室、ホール、母子室、調理実習室、相談室や会議室なども収容されており、多くの住民に活用されています。

住所：南風原町字宮平 697 番地 10

TEL 098-889-7381 FAX 098-889-6556



一般介護予防事業(ミニデイ)の様子



町内施設にてトレーニングを行う様子

健康長寿の推進

要介護・要支援状態となる高齢者を減らしていくため、筋力トレーニング教室や水中運動教室を実施。町のトレーニングジムやスイミングスクールでトレーニングを行うことで、それぞれの体力にあった無理のない運動を行うことができます。



栄養指導、集団健診の様子

みんなが健康で元気に暮らせるまちへ

町では、健康寿命の延伸や早世(65歳未満の死亡)減少に向け、健康はえばる21(第2次)データヘルス計画に基づき町民の健康づくりに取り組んでいます。

特定健診やがん検診の推進や、仕事形態に合わせた受診機会の充実(ナイト健診の実施)を図り、健康づくりの意識を高める取組を行っています。



MIXスポーツ、就労支援事業所、イベントの様子



障がい福祉の充実

障がいに対する理解を深める取り組みや障がい福祉に関する各種施策の充実を図り、障がい児・者が自分らしく自立し、地域生活を営むことができる共生社会の実現に向けた取り組みを行っています。



4

産業・雇用

工夫と連携で産業が躍動するまち



南風原のカボチャ



南風原のへちま



スターフルーツ



ストレリチア



南風原町商会 / 南風原町観光協会



ファーマーズマーケット南風原

持続的な発展

商工会と連携し、町内で起業を予定している方または新たな事業分野の開拓を考えている方へ相談指導や公演会を開催しています。農畜産物の地産地消の推進においては、食育としての学校給食における活用やファーマーズマーケットくがに市場を活用した安全で安心な農畜産物の安定供給への取り組みを行っています。



農業指導の様子

南風原産品を創り伸ばす

都市化の進展、農業従事者の高齢化、後継者不足など農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。そこで町は、安定した農業経営への対応策として、関係機関との連携による研修・指導育成体制の構築、JAや農業法人を中心とした県内外への安定した出荷体制の構築に取り組んでいます。



はえばるフェスタ、研修会の様子

新たな産業への支援

商工会との連携により、町に集中している医療関係産業や印刷関係産業の発展に取り組んでいます。町内での企業希望者については、相談会・制度活用に関する情報提供をし、企業支援を行っています。



東新川まち歩きツアー



金城哲夫展

観光振興計画の強化

観光振興を図るために2013年に発足された南風原町観光協会では、観光振興に係る推進体制の強化、新たな魅力づくりなど町民一体となった観光振興に向けたホスピタリティ意識の醸成に繋がるイベントなどの開催を行っています。

安心を食卓へ

近年、消費者における食の安全や健康に対する意識が高まっています。町では、消費者ニーズに対応した農畜産物の生産に向けた取り組み(6次産業化)を目指し、農作業を通じた交流や健康増進などの機会を活かした取り組みを推進しています。



化学調味料・着色料不使用かぼちゃのスープ



5 都市基盤・安全・安心

みどりとまちが調和した安全・安心のまち



多言語避難誘導マップ（日本語・英語版）

減災のまちづくり

近年、防災・減災に対する住民の意識が高まっています。災害に備え、町では防災行政無線の配備や避難誘導マップを作成・全世帯へ配布を行い、災害時に速やかに対応できる環境づくりに取り組んでいます。

また、大規模な災害に対応出来るよう食料や簡易トイレなどの備蓄品を整備しております。



消火訓練



災害に備え防災訓練で連携強化



もしもの為に食料を備蓄



本部カンナの会 大城会長

緑地保全・公園整備

町では、本部カンナの会による主体的な地域緑化活動が行なわれています。見頃にはカンナの花が一齐に咲き、毎年新聞で取り上げられるほど人気です。また、近年の人口増加に伴い、子育て環境、身近な生活環境の面から公園や広場の整備を行っております。



交通安全指導の様子

安心な町づくり

誰もが安心して暮らせるように、町・教育機関・与那原警察署・自治会・関係機関にて継続的な連携を行い、不審者情報の共有や交差点での立哨活動を行っています。また、新一年生に対する交通安全指導を毎年開催しております。



下水道見学会の様子



「かすりの里はえばる」をデザインした南風原町オリジナルマンホールの蓋

下水道整備の促進

汚水整備の推進は、生活排水による河川の汚濁を防止し快適な生活に繋がります。

今後も、沖縄汚水再生美ら水プランを踏まえ、雨水・排水施設の整備を長期的に取り組むことで、住みやすく・災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。



ウガンヌ前公園(字宮平)スロープ

公共交通の利便性向上

近年、問題視されている高齢化に対応できるよう、公共交通利便性向上やバリアフリー化に取り組んでおります。また、子育て世代にも住みやすい町となるよう、住民の意見を取り入れた改革に励んでおります。

6 環境

環境と共生する美しく住みよいまち



はえばるエコセンター、体験学習会の様子

はえばるエコセンター

リサイクルの普及・啓発や、環境情報の発信を目的として設置された、はえばるエコセンター。毎月エコを身近に感じられるイベントを開催するなど、町民の学び・交流の場となっています。また、制服のリユース事業など環境・人に優しい事業も行っています。

- 開館時 ▶ 午前9時～午後5時
- 休館日 ▶ 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始、その他
(環境学習出前講座等の都合で臨時休館になることもあります)
- お問い合わせ ☎098-889-4425



食事の様子、はえばる豚のエサ

はえばるリサイクルループ

学校給食の食べ残しや、町内の事業所等から出る食品の廃棄物について回収・分別後、発酵菌にて特殊処理をかけ、町独自のブランド「はえばる豚」のエサや堆肥として再利用しています。その後、豚肉として町の保育園や直売所にて提供する循環型事業を展開しています。

サスティナブルなまち

駆除のために捕獲され、廃棄していたハブを町内事業所との連携により、新たな商品(革製品)へと生まれ変わらせるサスティナブルな取り組みを行っています。生まれ変わったハブは2018年から2020年の間で合計63匹になります。(2021年3月現在)



一斉清掃、不法投棄の様子

不法投棄回収・清掃活動

担当課の見回りや回収だけでなく、年2回の一斉清掃活動にて、黄金森を中心に清掃・不法投棄処理を行っています。住民、企業のみならずと一緒になって清掃を行うことで、美しい地域づくりに町一体となって取り組んでいます。

世界とつながる 南風原の心

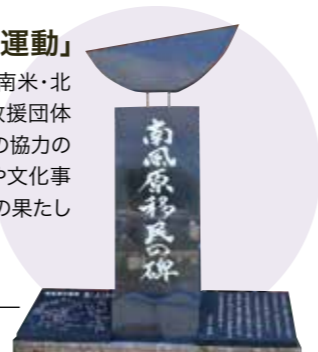
Spirit of Haeburu Connects the World

海外から故郷の復興を願った「沖縄救援運動」

戦争で多くの人や物を失った沖縄に対して、ハワイや南米・北米の沖縄県人会が沖縄の復興支援のために数多くの救援団体を組織し、衣類や食糧、医療品、日曜雑貨などを米海軍の協力のもと輸送しました。また、学校や図書館などの建設資金や文化事業の援助も行い、戦後の沖縄の復興に対する海外移民の果たした役割は非常に大きなものがありました。

南風原移民の碑(南風原文化センター敷地内)

「一世がまいた種が二世、三世の時代に芽を出し、子孫が繁栄してほしい」という願いが込められた琉歌が刻みこまれています。



戦争で獅子が消した事を知った宮平出身のハワイ移民者が新しい獅子を寄贈した1950年(昭和25年)

南風原の海外移民の歴史

沖縄は、昔から土地や資源に乏しく貧しい生活を強いられていたので、多くの人々が海を越えて行きました。南風原の人々も、1899(明治32)年のハワイ移民を皮切りに、南洋群島や南米等に移民しました。移民地では、名を成し財を蓄えた人もいましたが、志半ばにして名もなく貧しく倒れた人もいました。そのような中でも彼らは故郷を思いながら異国の地で踏ん張り、今では子や孫の二世・三世・四世がその国でしっかりと根付いています。

私達は、忘れてはならない時代の、忘れてはならない人々がいたことを、そして今、南風原の子孫達がいることを忘れてはなりません。

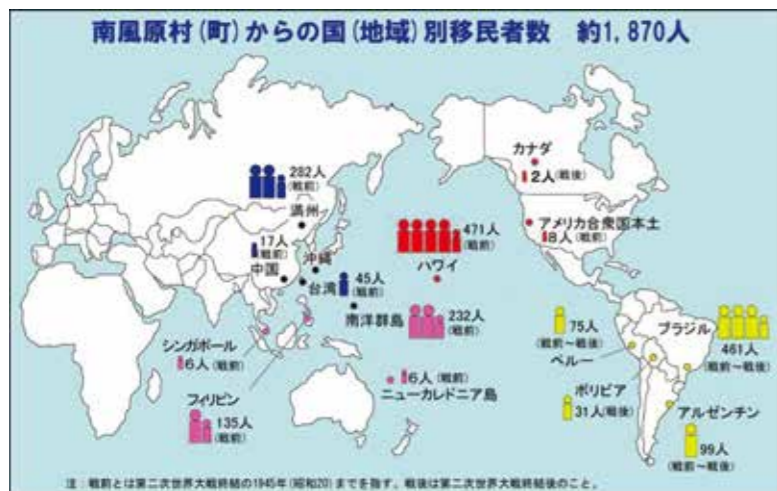
History of Haeburu Immigrants

Since long ago, Okinawa has had little land and resources, which has forced people to live in poverty. So, many people crossed the seas to go to other countries.

People from Haeburu also began to immigrate to Hawaii in 1899 as well as to the South Sea Islands, South America and other places.

In these lands where people immigrated, some made a name for themselves and amassed fortunes, while others lost their lives without much recognition before fulfilling their goals. These people persevered in a foreign land while their homeland was always in their heart. Today, their children and grandchildren of the second, third and even fourth generations are firmly rooted in these countries.

We must never forget that there are people who must not be forgotten from a time that must not be forgotten, and we must always remember the descendants of Haeburu.



海外移住者子弟研修生受入事業

平成元年より、南風原町に「海外移住者子弟研修生受入事業」で、移民先の子弟が毎年訪れています。南米(ブラジル、ペルー、アルゼンチン)やハワイから若者たちが親戚を訪ね、沖縄や南風原のルーツをたどり、歴史や文化を学んでいます。帰国後は、その事業のOBたちと連携し、南風原から訪れる人たちを受け入れるなど交流が続いています。移民した人たちは、故郷を忘れることはありません。そしてそれは子や孫の時代になって引き継がれていきます。



沖縄の伝統文化を学び披露する海外移住者子弟研修生

資料編

HAEBARU CITY DATA

人口50p

- ◎ 住民基本台帳人口及び世帯数の推移
- ◎ 年齢3区分別人口の推移
- ◎ 年齢5歳階級別人口

土地・気候52p

- ◎ 町の位置及び面積
- ◎ 主な丘陵
- ◎ 町内の河川
- ◎ 平成30年月別気温と湿度及び降水量

財政53p~54p

- ◎ 一般会計歳入決算状況
- ◎ 一般会計歳入決算状況
- ◎ 令和元年度町税決算状況

歴代(町長・副町長・教育長・議長・副議長)55p

- ◎ 歴代町長就任
- ◎ 歴代議長・副議長
- ◎ 歴代(副町長)助役就任
- ◎ 歴代教育長就任

はえばるのあゆみ56p~59p

南風原町の自治会60p~61p

テレホンガイド62p~63p

- ◎ 町の公共施設
- ◎ 町の郵便局
- ◎ 別の公共施設
- ◎ 各字自治会事務所
- ◎ その他の施設

南風原町行政機構図64p

目で見る南風原65p



南風原町 『町民憲章』

私たちは、南風原町民であることに誇りを持ち、みんなで力をあわせ、明るく、豊かで、住みよい町をつくるため、すすんで次のことを実行しましょう。

- 一、私たちは、教育を大事にし、文化のかおり高い町をつくりましょう。
- 一、私たちは、自然を愛し、みどり豊かな美しい町をつくりましょう。
- 一、私たちは、健康で明るい家庭をつくりましょう。
- 一、私たちは、きまりと時間を守り、住みよい町をつくりましょう。
- 一、私たちは、よく働き、よく学び、豊かな町をつくりましょう。

(昭和五十八年四月一日制定)

■住民基本台帳人口及び世帯数の推移

(各年12月末日現在)

年次	住民基本台帳人口			
	世帯数	人口		
		総数	男	女
昭和63年	7,299	26,502	13,312	13,190
元年	7,546	27,156	13,614	13,542
2年	7,786	27,813	13,920	13,893
3年	7,885	28,268	14,121	14,147
4年	8,025	28,631	14,285	14,346
5年	8,111	28,792	14,355	14,437
6年	8,235	28,985	14,457	14,528
7年	8,480	29,441	14,668	14,773
8年	8,681	29,708	14,843	14,865
9年	8,858	30,037	15,023	15,014
10年	9,091	30,302	15,108	15,194
11年	9,329	30,733	15,293	15,440
12年	9,628	31,229	15,492	15,737
13年	9,946	31,838	15,794	16,044
14年	10,303	32,397	16,118	16,279
15年	10,522	32,666	16,286	16,380
16年	10,679	32,989	16,438	16,551
17年	10,861	33,095	16,447	16,648
18年	11,249	33,662	16,724	16,938
19年	11,514	34,083	16,927	17,156
20年	11,825	34,417	17,089	17,328
21年	12,129	34,852	17,295	17,557
22年	12,381	35,132	17,396	17,736
23年	12,689	35,652	17,655	17,997
24年	12,917	36,044	17,849	18,195
25年	13,266	36,581	18,069	18,512
26年	13,595	37,108	18,362	18,746
27年	13,770	37,337	18,432	18,905
28年	14,154	37,991	18,732	19,259
29年	14,638	38,571	19,007	19,564
30年	15,184	39,318	19,346	19,972

資料：住民環境課

■年齢3区分別人口の推移

(各年10月1日現在)

年次	総数	年少人口(0歳~14歳)			生産年齢人口(15~64歳)			老年人口(65歳以上)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
平成2年	28,614	7,867	3,951	3,916	18,658	9,581	9,077	2,089	778	1,311
7年	30,249	7,281	3,681	3,600	20,294	10,352	9,942	2,674	1,034	1,640
12年	32,099	6,904	3,505	3,399	21,734	10,962	10,772	3,461	1,450	2,011
17年	33,527	6,672	3,440	3,232	22,394	11,220	11,174	4,461	1,961	2,500
22年	35,186	6,908	3,514	3,394	23,054	11,469	11,585	5,224	2,342	2,882
27年	37,217	7,380	3,794	3,586	23,454	11,586	11,868	6,383	2,919	3,464

資料：国勢調査

■年齢5歳階級別人口

(各年12月末日現在)

年齢別	年別	平成17年(2005年)				平成22年(2010年)				平成27年(2015年)			
		総数	男	女	構成比	総数	男	女	構成比	総数	男	女	構成比
年少人口	0~4歳	2,263	1,194	1,069	6.7%	2,449	1,241	1,208	6.9%	2,692	1,389	1,303	7.2%
	5~9	2,215	1,107	1,108	6.6%	2,226	1,144	1,082	6.3%	2,457	1,275	1,182	6.6%
	10~14	2,194	1,139	1,055	6.5%	2,233	1,129	1,104	6.3%	2,231	1,130	1,101	5.9%
	小計	6,672	3,440	3,232	19.9%	6,908	3,514	3,394	19.6%	7,380	3,794	3,586	19.7%
	生産年齢人口	15~19	2,347	1,159	1,188	7.0%	2,181	1,122	1,059	6.2%	2,157	1,068	1,089
20~24		1,959	934	1,025	5.8%	1,881	885	996	5.3%	1,730	859	871	4.6%
25~29		2,410	1,164	1,246	7.2%	2,311	1,117	1,194	6.6%	2,321	1,119	1,202	6.2%
30~34		2,740	1,399	1,341	8.2%	2,650	1,294	1,356	7.5%	2,661	1,264	1,397	7.1%
35~39		2,234	1,093	1,141	6.7%	2,767	1,408	1,359	7.9%	2,725	1,352	1,373	7.3%
40~44		2,137	1,064	1,073	6.4%	2,217	1,076	1,141	6.3%	2,798	1,424	1,374	7.5%
45~49		2,340	1,179	1,161	7.0%	2,143	1,074	1,069	6.1%	2,246	1,092	1,154	6.0%
50~54		2,632	1,348	1,284	7.8%	2,311	1,156	1,155	6.6%	2,094	1,049	1,045	5.6%
55~59		2,081	1,077	1,004	6.2%	2,576	1,304	1,272	7.3%	2,291	1,123	1,168	6.1%
60~64		1,514	803	711	4.5%	2,017	1,033	984	5.7%	2,431	1,236	1,195	6.5%
小計		22,394	11,220	11,174	66.8%	23,054	11,469	11,585	65.4%	23,454	11,586	11,868	62.5%
高齢人口	65~69	1,420	741	679	4.2%	1,450	755	695	4.1%	1,919	956	963	5.1%
	70~74	1,099	553	546	3.3%	1,334	678	656	3.8%	1,364	678	686	3.6%
	75~79	738	315	423	2.2%	1,024	477	547	2.9%	1,246	612	634	3.3%
	80~84	535	184	351	1.6%	633	235	398	1.8%	905	393	512	2.4%
	85~89	373	103	270	1.1%	428	122	306	1.2%	559	195	364	1.5%
	90~94(90歳以上)	203	49	154	0.6%	244	56	188	0.7%	272	68	204	0.7%
	95~99	81	12	69	0.2%	95	17	78	0.3%	93	14	79	0.2%
	100歳以上	12	4	8	0.0%	16	2	14	0.0%	25	3	22	0.1%
小計	4,461	1,961	2,500	13.3%	5,224	2,342	2,882	14.8%	6,383	2,919	3,464	17.0%	
不詳	10	6	4	0.0%	58	33	25	0.2%	285	130	155	0.8%	
総数	33,537	16,627	16,910	100.0%	35,244	17,358	17,886	100.0%	37,502	18,429	19,073	100.0%	

資料：国勢調査

■町の位置及び面積

(平成30年10月1日現在)

南風原町の位置・面積				庁舎の位置	
方向	地名	経緯度	面積	所在地	経緯度
極東	与那覇	東経127°44'55"	10.76km ²	字兼城686番地	東経127°43'43" 北緯26°11'28"
極西	津嘉山	東経127°42'28"			
極南	神里	北緯26°10'06"			
極北	新川	北緯26°13'06"			

※建設省国土地理院「平成30年全国都道府県市区町村別面積調」より

■主な丘陵

名称	標高	主な樹木、その他
黄金森	85.0m	タブノキ、アカギ、ハマユビワ、ガジュマル
高津嘉山	87.1m	タブノキ、オオバキ、ギンネム
新川森	137.1m	タブノキ、アカギ、リュウキュウマツ、ススキ

資料：南風原町史 自然・地理資料編

■町内の河川

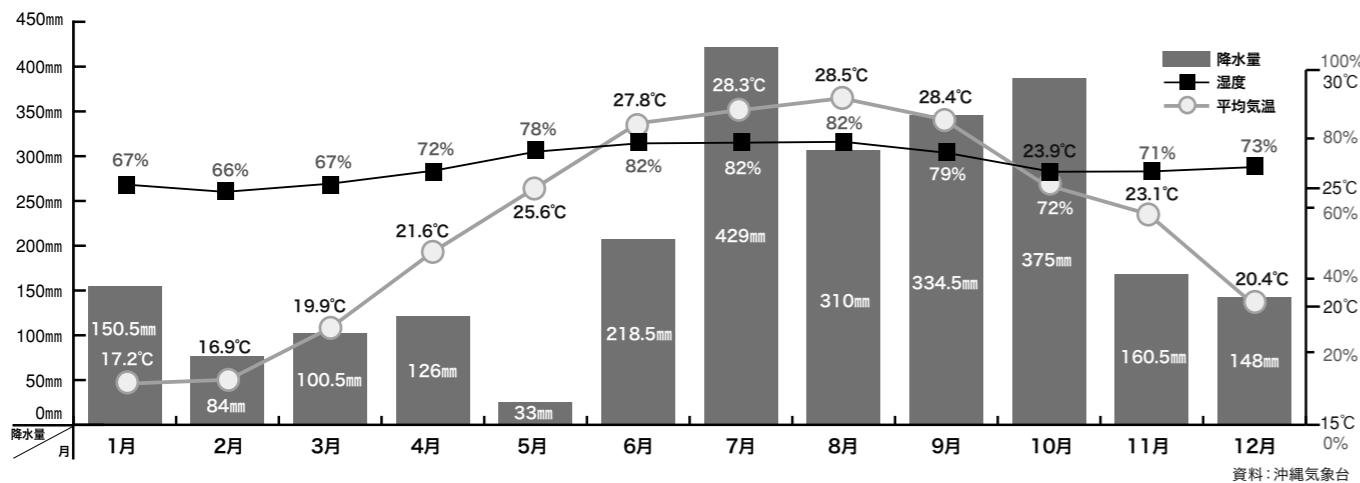
(平成30年4月1日現在)

種別	河川	起点(指定区間)	終点	指定延長(m)	流域面積(km ²)
二級河川	国場川	左岸 南風原町字宮城当川原380番2地先から	漫湖を含み明治橋に至る	8,250	43.06
		右岸 南風原町字大名宮城原181番3地先から	〃 〃		
準用河川	長堂川	左岸 八重瀬町字外間下後原202番地先から	国場川合流点に至る	2,300	7.39
		右岸 南風原町字津嘉山前川原816-1地先から	〃 〃		
準用河川	安里又川	左岸 南風原町字宮城安里又原596番地先から	字大名宮城原181番地まで	800	1.77
		右岸 〃 501-3番地先から	字大名宮城当川原380番地まで		
	手登根川	左岸 南風原町字宮平手登根970番地先から	字宮平宇底原741番地まで	800	1.14
		右岸 〃 971番地先から	〃 743番地まで		
	宮平川	左岸 南風原町字宮平世星原822-1番地先から	字兼城山田原631番地まで	1,800	3.41
		右岸 〃 喜納原203-1番地先から	字兼城内原209番地まで		
長堂川	左岸 八重瀬町字友寄川端原1068番地先から	字宜次久保増原723番地まで	1,053	6.04	
	右岸 南風原町字山川新垣原150-1番地先から	字津嘉山前川原816-1番地まで			

※国場川について平成18年3月31日より指定区域変更あり。

資料：都市整備課

■平成30年月別気温と湿度及び降水量



■一般会計歳入決算状況

(単位：千円)

	令和元年度		平成30年度		前年度比	
	決算額A	構成比	決算額B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
(自主財源) A	6,785,956	43.9	7,040,329	46.4	△254,373	△3.6
町税	4,268,454	27.6	4,141,771	27.3	126,683	3.1
分担金・負担金	304,067	2.0	389,748	2.6	△85,681	△22.0
使用料・手数料	80,747	0.5	114,127	0.8	△33,380	△29.2
財産収入	21,007	0.1	7,981	0.0	13,026	163.2
寄附金	211,948	1.4	60,592	0.4	151,356	249.8
繰入金	691,719	4.5	1,027,720	6.8	△336,001	△32.7
繰越金	697,742	4.5	854,542	5.6	△156,800	△18.3
諸収入	510,272	3.3	443,848	2.9	66,424	15.0
(依存財源) B	8,686,098	56.1	8,118,632	53.6	567,466	7.0
地方譲与税	67,605	0.4	68,141	0.5	△536	△0.8
利子割交付金	1,910	0.0	3,086	0.0	△1,176	△38.1
配当割交付金	6,774	0.1	5,125	0.0	1,649	32.2
株式譲渡所得割交付金	4,773	0.0	4,436	0.0	337	7.6
地方消費税交付金	637,774	4.1	663,469	4.4	△25,695	△3.9
自動車取得税交付金	11,157	0.1	19,841	0.2	△8,684	△43.8
環境性能割交付金	2,198	0.0	0	0.0	2,198	皆増
地方特例交付金	114,050	0.7	22,213	0.2	91,837	413.4
地方交付税	2,146,901	13.9	2,145,659	14.2	1,242	0.1
交通安全対策特別交付金	4,250	0.0	4,675	0.0	△425	△9.1
国庫支出金	2,809,111	18.2	2,339,983	15.4	469,128	20.0
県支出金	2,023,795	13.1	2,218,604	14.6	△194,809	△8.8
地方債	855,800	5.5	623,400	4.1	232,400	37.3
合計 (A+B)	15,472,054	100.0	15,158,961	100.0	313,093	2.1

※数値は「令和元年度南風原町一般会計・特別会計歳入歳出決算書」より

■一般会計歳出決算状況(性質別)

(単位：千円)

	令和元年度		平成30年度		前年度比	
	決算額A	構成比	決算額B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
(義務的経費) ①	7,560,913	49.4	7,347,135	50.8	213,778	2.9
人件費	1,670,181	10.9	1,703,167	11.8	△32,986	△1.9
扶助費	4,841,018	31.6	4,627,627	32.0	213,391	4.6
公債費	1,049,714	6.9	1,016,341	7.0	33,373	3.3
(投資的経費) ②	1,326,638	8.7	968,010	6.7	358,628	37.0
普通建設事業	1,317,782	8.6	941,763	6.5	376,019	39.9
災害復旧事業	8,856	0.1	26,247	0.2	△17,391	△66.3
(その他の経費) ③	6,413,162	41.9	6,146,074	42.5	267,088	4.3
物件費	1,890,900	12.4	1,825,528	12.6	65,372	3.6
維持補修費	11,031	0.1	22,552	0.2	△11,521	△51.1
補助費等	1,350,421	8.8	1,391,506	9.6	△41,085	△3.0
積立金	1,031,976	6.7	1,069,946	7.4	△37,970	△3.5
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
貸付金	30,000	0.2	20,000	0.1	10,000	50.0
繰出金	2,098,834	13.7	1,816,542	12.6	282,292	15.5
合計 (①+②+③)	15,300,713	100.0	14,461,219	100.0	839,494	5.8

「令和元年度主要施策の成果に関する報告書」より

令和元年度町税決算状況

(単位：千円)

	令和元年度			平成30年度			令和元年～平成30年		
	調定額 A	決算額 B	(B/A) ×100 =C%	調定額 D	決算額 E	(E/D) ×100 =C%	調定額 の増減 A-D=G	決算額 の増減 B-E=H	決算額 の増減率 (H/E) ×100%
町税	4,296,714	4,268,454	99.3	4,173,302	4,141,771	99.2	123,412	126,683	3.1
町民税	1,882,321	1,867,201	99.2	1,797,030	1,783,255	99.2	85,291	83,946	4.7
個人町民税	1,626,106	1,611,932	99.1	1,556,461	1,543,835	99.2	69,645	68,097	4.4
1.現年課税分	1,613,842	1,605,778	99.5	1,540,796	1,536,162	99.7	73,046	69,616	4.5
2.滞納繰越分	12,264	6,154	50.2	15,665	7,673	49.0	△3,401	△1,519	△19.8
法人町民税	256,215	255,269	99.6	240,569	239,420	99.5	15,646	15,849	6.6
1.現年課税分	255,424	255,224	99.9	238,944	238,910	100.0	16,480	16,314	6.8
2.滞納繰越分	791	45	5.7	1,625	510	31.4	△834	△465	△91.2
固定資産税	2,011,679	1,999,948	99.4	1,973,574	1,957,420	99.2	38,105	42,528	2.2
純固定資産税	1,989,727	1,977,996	99.4	1,958,057	1,941,903	99.2	31,670	36,093	1.9
1.現年課税分	1,974,926	1,969,641	99.7	1,934,639	1,928,539	99.7	40,287	41,102	2.1
2.滞納繰越分	14,801	8,355	56.4	23,418	13,364	57.1	△8,617	△5,009	△37.5
国有資産等交付金	21,952	21,952	100.0	15,517	15,517	100.0	6,435	6,435	41.5
軽自動車税	139,995	138,586	99.0	133,852	132,250	98.8	6,143	6,336	4.8
種別割	139,236	137,827	99.0	133,852	132,250	0.0	5,384	5,577	4.2
1.現年課税分	137,790	137,365	99.7	131,924	131,435	99.6	5,866	5,930	4.5
2.滞納繰越分	1,446	462	32.0	1,928	815	42.3	△482	△353	△43.3
環境性能割	759	759	100.0	0	0	0.0	759	759	皆増
町たばこ税	262,719	262,719	100.0	268,846	268,846	100.0	△6,127	△6,127	△2.3
1.現年課税分	262,719	262,719	100.0	268,846	268,846	100.0	△6,127	△6,127	△2.3
2.滞納繰越分	0	0	-	0	0	-	0	0	-
1.現年課税分合計	4,267,412	4,253,438	99.7	4,130,666	4,119,409	99.7	136,746	134,029	3.3
2.滞納繰越分合計	29,302	15,016	51.2	42,636	22,362	52.4	△13,334	△7,346	△32.9

歴代町長就任

平成31年3月1日現在

歴代	氏名	就任年月	備考
初代	仲里 徳太郎	明治 41年4月	津嘉山
2代	与那嶺 基 先	45年4月	宮 城
3代	神里 多一郎	大正 5年10月	山 川
4代	神里 多一郎	9年10月	山 川
5代	神里 吉三郎	13年8月	山 川
6代	仲本 亀五郎	昭和 3年8月	兼 城
7代	仲本 亀五郎	7年8月	兼 城
8代	金城 栄 禮	12年5月	喜屋武
9代	金城 栄 禮	16年5月	喜屋武
10代	与座 章三郎	21年4月	津嘉山
11代	照屋 善 清	23年3月	神 里
12代	照屋 善 清	25年10月	神 里
13代	金城 広太郎	29年5月	津嘉山
14代	金城 広太郎	33年5月	津嘉山
15代	赤嶺 保 信	37年5月	喜屋武
16代	赤嶺 保 信	41年5月	喜屋武
17代	野原 広 仁	45年5月	喜屋武
18代	大城 徳 盛	49年5月	照 屋
19代	大城 徳 盛	53年5月	照 屋
昭和55年4月1日町政移行			
初代町長	大城 徳 盛	昭和 55年4月	照 屋
2代	大城 徳 盛	57年5月	照 屋
3代	金城 義 夫	61年5月	津嘉山
4代	金城 義 夫	平成 2年5月	津嘉山
5代	金城 義 夫	6年5月	津嘉山
6代	城間 俊 安	10年5月	津嘉山
7代	城間 俊 安	14年5月	津嘉山
8代	城間 俊 安	18年5月	津嘉山
9代	城間 俊 安	22年5月	津嘉山
10代	城間 俊 安	26年5月	津嘉山
11代	赤嶺 正 之	30年5月	宮 平

資料：総務課

歴代教育長就任

平成31年3月1日現在

歴代	氏名	就任年月	備考
初代	新垣 照 行	昭和47年5月	与那覇
2代	新垣 照 行	昭和48年4月	与那覇
3代	新垣 照 行	昭和52年4月	与那覇
4代	新垣 照 行	昭和56年4月	与那覇
5代	照屋 善 一	昭和56年6月	神 里
6代	照屋 善 一	昭和60年4月	神 里
7代	中村 清	昭和62年1月	宮 平
8代	中村 清	平成元年4月	宮 平
9代	中村 清	平成 5年4月	宮 平
10代	神里 富 夫	平成 9年4月	津嘉山
11代	大城 昇	平成13年4月	津嘉山
12代	大城 昇	平成17年4月	津嘉山
13代	大城 静 雄	平成19年7月	兼 城
14代	赤嶺 正 之	平成23年4月	宮 平
15代	赤嶺 正 之	平成25年4月	宮 平
16代	赤嶺 正 之	平成29年4月	宮 平
17代	新垣 吉 紀	平成30年6月	与那覇

資料：教育総務課

歴代(副町長)助役就任

平成31年3月1日現在

歴代	氏名	就任年月	備考
初代	神里 吉三郎	明治 41年4月	山 川
2代	神里 吉三郎	45年4月	山 川
3代	神里 吉三郎	大正 5年10月	山 川
4代	神里 吉三郎	9年10月	山 川
5代	大城 喜四郎	13年8月	津嘉山
6代	金城 栄 禮	昭和 3年8月	喜屋武
7代	金城 栄 禮	7年8月	喜屋武
8代	与座 章三郎	12年6月	津嘉山
9代	与座 章三郎	16年6月	津嘉山
10代	神里 昌 慶	21年4月	山 川
11代	金城 広太郎	23年3月	津嘉山
12代	金城 広太郎	25年10月	津嘉山
13代	赤嶺 保 信	29年5月	喜屋武
14代	赤嶺 保 信	33年5月	喜屋武
15代	大城 徳 盛	37年5月	照 屋
16代	大城 徳 盛	41年5月	照 屋
17代	大城 徳 盛	45年5月	照 屋
18代	赤嶺 英 助	49年6月	宮 平
19代	赤嶺 英 助	53年6月	宮 平
20代	赤嶺 英 助	57年6月	宮 平
21代	赤嶺 英 助	61年6月	宮 平
22代	大城 茂	平成 2年6月	兼 城
23代	大城 茂	6年6月	兼 城
24代	大城 徳次郎	10年6月	本 部
25代	大城 徳次郎	14年6月	本 部
26代	大城 徳次郎	18年6月	本 部
平成19年4月1日より地方自治法改正により 助役に代えて副町長に呼称変更			
初代	大城 徳次郎	19年4月	本 部
2代	国吉 真 章	22年6月	那覇市天久
3代	国吉 真 章	26年6月	那覇市天久
4代	国吉 真 章	30年6月	那覇市天久

資料：総務課

歴代議長・副議長

平成31年3月1日現在

歴代	職名	氏名	備考
初代	議長	大城 森	兼 城
	副議長	与座 章三郎	津嘉山
2	議長	与座 章三郎	津嘉山
	副議長	中村 義 永	宮 平
3	議長	新垣 孝 亀	与那覇
	副議長	金山 善 律	津嘉山
4	議長	新垣 孝 亀	与那覇
	副議長	金山 善 律	津嘉山
5	議長	仲里 清 善	津嘉山
	副議長	新垣 孝 亀	与那覇
6	議長	大城 亀 吉	宮 平
	副議長	吉村 正 一	津嘉山
7	議長	神里 富 夫	山 川
	副議長	吉村 正 一	津嘉山
8	議長	吉村 正 一	津嘉山
	副議長	大城 栄 吉	宮 平
9	議長	吉村 正 一	津嘉山
	副議長	大城 茂	兼 城
10	議長	大城 茂	兼 城
	副議長	知念 政 賀	大 名
11	議長	大城 誠 守	神 里
	副議長	大城 春 喜	喜屋武
12	議長	大城 新 次	兼 城
	副議長	野原 広 造	喜屋武
13	議長	城間 俊 安	津嘉山
	副議長	大城 栄 一	本 部
14	議長	金城 金 成	大 名
	副議長	中村 勝	宮 平
15	議長	新垣 善 清	与那覇
	副議長	中村 静 枝	兼 城
16	議長	城間 兵 勝	兼 城
	副議長	花城 清 和	新 川
17	議長	金城 成 長	津嘉山
	副議長	玉城 光 雄	宮 城
18	議長	中村 勝	宮 平
	副議長	知念 富 信	兼 城
19	議長	宮城 清 政	本 部
	副議長	玉城 勇	宮 城
20	議長	知念 富 信	兼 城
	副議長	玉城 勇	宮 城

資料：議会事務局

年	月日	沿革
	10月1日	北丘ハイツ自治会発足
平成元年	4月21日	南風原町赤十字奉仕団結成
	5月1日	印鑑証明書発行のオンライン化開始
	8月3日	町出身者南米留学生受入事業開始
	11月3日	南風原文化センター開館
2年	1月17日	町道10号線道路改良工事起工式
	4月1日	町制施行10周年記念式典
	4月28日	北丘児童館落成式
	6月2日	本部公園開園
	6月27日	「南風原陸軍病院壕」を町文化財に指定
3年	4月5日	翔南小学校・幼稚園開校
	4月20日	兼城児童館落成
	8月17日	飛び安里初飛翔顕彰記念碑が完成
	11月5日	中央公民館が文部大臣賞を受賞
	11月18日	～29日、土のグスク、クニンドー遺跡が見つかる
4年	4月18日	本部児童館落成
	5月1日	住民課において昼休み時間中の窓口業務開始
	5月27日	南風原共同福祉施設完成
	7月17日	津嘉山大綱曳き、10年ぶりに開催
5年	4月17日	津嘉山児童館落成
	8月7日	～8日、南風原物産展、愛媛県八幡浜市で開催
	8月12日	～21日、第一回国際交流団として中高生10名をハワイへ派遣
6年	2月26日	公民館まつりで第一回ウチナーグチ大会を開催
	6月1日	在宅介護支援センター開所
	8月23日	JA津嘉山がストレリチアの産地宣言
	9月18日	本部、喜屋武、照屋を結ぶかすりの道完成
7年	1月24日	琉球餅事業協同組合20周年記念事業で、かすりの歌「夢織人」を披露
	3月11日	～12日、第二回町民劇場で「黄金南風の詩」を上演
	4月1日	宮城公園開園
	6月4日	黄金森劇団(町民劇団)結成
	7月3日	ごみの5種類分別門口収集開始
	8月1日	県立公文書館開館
8年	3月25日	ハワイ南風原町人会が初来県
	4月1日	共同作業所「はんどinはんど」が福祉センター内に開所
	7月24日	第三次南風原町総合計画策定
9年	6月21日	南風原国民学校卒業式、52年ぶりに挙
	8月9日	～10日、平和創造劇「卒業証書」を町民で上演
	8月10日	南風原町ジュニアリーダークラブ結成
	8月18日	町の人口が3万人を突破

年	月日	沿革
	5月8日	社会福祉センター落成
	5月20日	津嘉山小学校プール落成
	8月25日	南風原町身体障害者福祉会結成
	11月12日	旧陸軍病院跡で映画「ひめゆりの塔」の撮影開始(28年ぶり)
57年	2月27日	南風原町献血推進協議会発足
	3月29日	「非核平和の町」宣言
	4月1日	東部消防組合南風原分遣所の新庁舎落成
	4月7日	南風原町立北丘小学校開校
	6月25日	南風原町交通安全母の会発足
	8月7日	津嘉山大綱曳き10年ぶりに開催
	9月1日	北丘小学校・幼稚園の落成(南風原小学校・幼稚園より分離)
	12月25日	町の木にリュウキュウコクタン、町の花にプーゲンビレアを制定
58年	1月27日	健康づくり推進協議会発足
	4月1日	「町民憲章」制定
59年	1月19日	宮平川河川改修工事開始
	3月25日	第一回南風原町社会教育大会開催
	4月	町教育委員会、文部大臣より表彰
	9月6日	国体南風原町実行委員会設立
60年	8月26日	南風原町総合計画審議会発足
	11月29日	第一回南風原町社会福祉大会開催
	12月7日	第二回南風原まつり開催
61年	3月8日	第一回こどもまつり開催
	3月	第二次南風原町総合計画書、策定
	5月1日	南風原高校線開通
	6月28日	第一回町民健康まつり開催
	10月8日	全国学校給食研究大会で津嘉山小学校が文部大臣表彰を受賞
	11月29日	国体リハーサル大会開催
62年	2月28日	南風原勤労者体育センター落成
	3月31日	照屋農村コミュニティセンター落成
	3月31日	町の人口が2万5千人を突破
	4月1日	南星中学校開校(南風原中学校より分離)
	6月5日	外国人英語教師招聘
	8月17日	～24日、「飛び安里展」開催
	10月25日	～30日、海邦国体開催(成人女子バスケットボール)
63年	3月17日	番所跡にテニスコート完成
	4月1日	学校教育指導主事配置
	6月6日	琉球餅振興審議会設置
	8月30日	～31日、第一回南風原町福祉まつり開催
	8月9日	学校給食調理場移転落成式

年	月日	沿革
46年	4月18日	村歌・村章を制定
	9月10日	南風原村史を発刊
	10月1日	村立宮平保育所落成
47年	3月17日	南風原小・中学校運動場整備工事着工
	5月15日	本土復帰により南風原村役所を役場に改称
	5月15日	本土復帰により南風原教育区教育委員会が南風原村立教育委員会へ組織変更
	5月16日	ドルから円へ、通貨切り替え
	10月1日	救急業務解説、大型消防車購入
	10月1日	国民健康保険制度を実施
	10月1日	農業委員会設置
48年	4月1日	村立幼稚園(宮城、兼城、宮平、本部、照屋、津嘉山)落成
49年	3月31日	村立幼稚園園舎(南風原、津嘉山)落成
	10月27日	南風原中学校体育館落成
	11月27日	南風原村総合計画、策定
50年	4月1日	南風原村立津嘉山小学校開校(南風原小学校より分離)
	8月29日	南風原村社会福祉協議会設立
	8月29日	家庭奉仕員制度開始
51年	4月1日	東部消防本部設立
		神里地区土地改良事業着工
	10月29日	かぼちゃ特産地宣言
	10月30日	神里児童公園完成
52年	3月30日	学校給食共同調理場落成
	10月18日	琉球かすりの里宣言
	11月1日	県営第一南風原団地、入居開始
	11月5日	南風原村商工会発足
	12月8日	住宅供給公社分譲団地、分譲開始
	12月10日	津嘉山小学校体育館落成
53年	2月25日	南風原村立中央公民館落成
	4月	役場に、コンピュータ端末機導入
	10月10日	体育協会、文部大臣表彰を受賞
	10月26日	県営第二団地、入居開始
54年	1月21日	国から「琉球かすり」の産地に指定される
	7月18日	南風原村交通安全推進協議会結成
	12月26日	南風原中学校生徒による模擬議会の開催
55年	3月	南風原小学校プール落成
	4月1日	南風原町として町制施行開始
	4月12日	琉球かすり会館落成
	4月26日	第一回南風原まつり開催
	7月19日	南風原町立津嘉山地区公民館落成
56年	4月1日	南風原小学校の校区の一部変更により、第二団地を津嘉山小学校へ編入

年	月日	沿革
明治41年	4月	町村制施行に伴い、勅令第46号によって間切を村に改め、南風原村になる
昭和16年	4月1日	南風原小学校を南風原国民学校に改称
20年	5月	南風原国民学校、戦災により消失
21年	1月23日	南風原村役所を大見武に設置
	2月1日	南風原小学校開校、大見武において挙
	4月20日	南風原村農業組合設置
	10月12日	南風原小学校敷地内に村役所を設置
22年	8月	南風原村婦人会結成
	8月	南風原村青年連合会結成
23年		南風原村公社復興期成会結成
	4月1日	学制改革により6・3・3制が実施され、南風原中学校が創立
25年	9月1日	南風原村役所の新庁舎が兼城に落成(現南風原小学校敷地)
	9月	南風原村に納骨堂をつくり1,003柱の慰霊祭を挙
26年	4月1日	南風原村大名が分離し字となる
	8月	村農業改良委員会設置～24日
27年	4月28日	納骨堂の全遺骨を火葬、納骨祭挙
	5月11日	南風原区教育委員会発足
28年	7月1日	南風原小学校校舎(鉄筋コンクリート)落成
	10月10日	南風原村農業共同組合より津嘉山農業共同組合が分離
29年	12月1日	津嘉山、照屋、本部、喜屋武、兼城、宮平、与那覇が沖縄配電により各戸点灯
30年	3月	山川、神里が沖縄配電により各戸点灯
	7月	宮城、大名が沖縄配電により各戸点灯
32年	2月	新川が沖縄配電により各戸点灯
	3月	南風原土地改良組合創立
34年	9月	南風原村役所新庁舎(鉄筋コンクリート)落成
35年	10月15日	県立精和病院建設工事着工(新川)
36年	1月	宮城公民館落成祝賀会
	8月	南風原中学校校舎(鉄筋コンクリート)落成
38年	9月	南風原村に慰霊塔建立
	9月17日	南風原村老人クラブ連合会発足
40年	6月1日	南風原小・中学校で完全給食実施
41年	3月	南風原陸軍病院跡に悲風の丘記念碑建立
	6月	南風原村兼城に慰霊祈和の塔建立
	6月	沖縄県内初の役場へのコンピュータ導入
44年	3月14日	南風原村青少年健全育成協議会設立
	12月14日	南風原小学校体育館落成
45年	7月	大名の摩文仁家の墓、県指定の有形文化財建物として登録

年	月日	沿革
	8月	南風原町プレミアム付き「はえるん商品券」販売
	8月1日	沖縄県人カナダ移民115周年記念式典がカナダ・レスブリッジ市で開催
	9月2日	第五次総合計画策定に向け第1回南風原町まちづくり住民会議を開催
	10月12日	第1回南風原町平和コンサート開催
	11月3日	琉球絃事業協同組合創立40周年記念式典
28年	10月	新川区民食堂～ゆうばんくわっちー会～
	10月	世界の南風原人歓迎会
	10月	南星中学校創立30周年卒業生が協賛金贈呈
	11月	第19回ふるさと博覧会
	11月	平和コンサート
	12月	知念慶さん川崎フロンターレ入団内定
29年	2月	南風原花織伝統工芸品認定
	8月	宮平地域振興資料館 落成
	10月	渡名喜南南さん 柔道世界選手権大会48キログ級優勝
	10月	神里和毅さんドラフト2位指名
	11月	南星中学校創立30周年JAはえばる・つかざんが寄付金贈呈
30年	3月	津嘉山小学校リコーダー全国大会で金賞
	4月	ウガンヌ前公園オープン
	4月	津嘉山地域振興資料館 落成
	5月	黄金森公園「芝広場」供用開始
	9月	金城哲夫公演
	11月	第20回ふるさと博覧会
31年	9月	文化センター30周年
	12月	町内幼稚園・小学校へのクーラー整備
令和2年	1月	北丘小学校西側避難通路完成
	1月25日	神里区自治会 沖縄、ふるさと百選認定
	4月1日	町制施行40周年
	4月3日	人口4万人到達
	10月28日	南風原町電子図書館オープン
令和3年	1月30日	名古屋グランパス春季キャンプ開催(2月13日まで)
	2月1日	新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム設置
	2月1日	はえるん風景印デビュー(津嘉山郵便局)
	2月13日	沖縄トヨタOTMグループよりサッカーボール200球寄贈(名古屋グランパス春季キャンプ1ゴール10球キャンペーン)
	2月25日	町税・料金のスマホ決済開始
	4月1日	南風原中学校・南星中学校 制服の選択制開始

年	月日	沿革
	6月19日	戦争遺跡保存全国シンポジウム開催
	7月29日	美ら島沖縄高校総体女子バスケットボール競技
	8月17日	夏期巡回ラジオ体操みんなの体操会南風原大会
	9月6日	戸籍総合システム稼働開始
	9月14日	総合保健福祉防災センター(ちむぐる館)開館
	9月22日	町人口35,000人に到達
	12月5日	黄金森公園テニスコートオープン
	12月22日	南風原町平和の礎(兼城)完成
23年	1月5日	黄金森テニスコートがちむぐる館屋上に完成
	2月9日	南風原町人材サポートセンター設置
	2月20日	南風原町小学校130周年記念式典
	7月1日	広域行政窓口サービス開始
	10月1日	新町立中央公民館(地域交流センター)開館・町立図書館開館
	10月16日	世界の南風原町人歓迎会
	11月20日	翔南小学校・幼稚園20周年記念式典
	11月26日	第1回公私立保育園交流運動会
24年	4月18日	南風原町LED電光掲示板始動
	4月24日	第1回議会報告会開催
	11月	南風原町イメージキャラクター「はえるん」誕生!
25年	3月	10月12日を南風原町民平和の日に制定
	4月1日	南風原町観光協会発足
	7月9日	南風原町デジタル防災行政無線の運用開始
	9月2日	県内初となる証明書のコンビニ交付サービス開始
	9月21日	喜屋武の組踊「本部大主」が30年ぶりに復活
26年	1月1日	まちづくり基本条例施行
	1月11日	本部の伝統芸能「ハーベールモーイー」が63年ぶりに復活
	4月1日	こども医療費の通院分助成の対象年齢を「3歳まで」から「中学卒業まで」に拡大
	10月4日	南風原町観光案内所オープン
	10月18日	津嘉山区で組踊「八重瀬」が26年ぶりに全編上演
27年	1月20日	スターフルーツ拠点産地認定
	2月	サッカーJ1名古屋グランパスが春季キャンプを実施
	4月3日	黄金森公園はえるん広場オープン
	4月28日	JAファーマーズマーケット南風原くがに市場オープン

年	月日	沿革
17年	1月12日	町財政健全化計画・町職員適正化計画策定
	2月5日	花・水・緑の大回廊公園オープン
	4月1日	町制施行25周年記念式典
	6月22日	ストレリチア拠点産地認定
	7月1日	昼休みの窓口業務拡大
	10月28日	琉球絃事業協同組合設立30周年記念事業
	12月1日	ごみ分別変更 プラスチック類が燃えるごみへ
18年	1月	国勢調査速報結果 町人口33,538人
	2月12日	津嘉山幼小創立30周年
	4月1日	那覇・南風原クリーンセンター稼働
	4月1日	県立南部医療センター・こども医療センター開院
	5月9日	カナダレスブリッジ市制100周年へ町民35人が訪問
	9月10日	町議会議員選挙 議員定数22名が16名へ
	12月21日	南風原町中学校新校舎完成
19年	2月	住基カード利用の自動交付機導入
	3月	第4次南風原町総合計画策定
	3月27日	那覇エコアイランド(海を埋め立てて廃棄物を処分する施設)完成
	4月1日	南風原町機構改革 役場組織の見直し
	4月28日	新川公園落成
	6月18日	沖縄陸軍病院南風原壕群20号一般公開開始
	6月23日	憲法第9条の碑・鎮魂平和の鐘除幕
	7月1日	環境の杜ふれあい落成
	11月1日	パークゴルフ場オープン
	12月14日	南風原町商工会設立30周年
20年	2月23日	南星中学校創立20周年
	4月	特定健診・特定保健指導開始
	4月	資源ごみのかご出し、使用済み天ぷら油の収集が開始
	7月	南風原文化センター移転建設工事着工
	8月	ブラジル・アルゼンチン移民100周年視察訪問
	11月1日	南風原村制100周年記念式典
	12月22日	総務大臣賞(地方自治部門)受賞
21年	2月13日	兼城交番が南風原幼稚園隣に移転
	2月15日	南風原町中学校60周年
	3月30日	村制100周年記念植樹
	6月22日	天ぷら油燃料での給食配送車とごみ収集車走行開始
	10月9日	南風原町平和ガイドの会(NPO法人)設立
	11月3日	南風原文化センター新装開館
22年	4月1日	町制施行30周年記念式典
	4月1日	ファミリーサポートセンター設置
	6月2日	マンゴー・スターフルーツ産地協議会設立

年	月日	沿革
9年	8月24日	町婦人会連合会が結成し50周年を迎え、町女性連合会へ改称
	12月15日	南風原町商工会設立20周年記念式典
10年	2月14日	古紙をリサイクルした「かすりペーパー」発売
	3月21日	役場新庁舎落成式
	6月2日	県内初の子どもエコクラブが発足
	10月27日	町女性連合会が環境庁長官賞受賞
11年	3月1日	地域振興券交付
	3月20日	宮平保育所完成
	6月	ごみ袋指定化開始
	7月	町史「第二巻」「第三巻」発刊
12年	4月1日	町制施行20周年
	4月21日	カナダ首相をたずね、町民210名がカナダへ
	6月	男女共生社会を創る懇話会設立
	7月	「南風原の自然と地理」発刊
	7月21日	沖縄サミット、クレティエン首相(カナダ)来町
	8月19日	～20日、第三回町民劇場「弓太郎幻想」上演
	11月3日	～5日、南風原・アジア餅ロードまつり開催
13年	4月28日	黄金森公園・陸上競技場落成式典、供用開始
	7月1日	宮平ハイソ自治会発足
	7月	町議会史発刊
	9月15日	第一回「小中学生陸上競技大会」開催
14年	3月	男女共同参画計画「まじゅんプラン」策定
	4月1日	学校週休2日制度開始
	4月1日	町情報公開制度・個人情報保護制度開始
	6月30日	ホッケー日本リーグ「日光アイスバックス」が来町交流試合開催
	7月8日	東部消防南風原出張所、落成式
	8月	住民基本台帳ネットワークシステム稼働開始
	8月17日	～18日、翔南フレンズ(少年野球)全国選抜大会(下関)で優勝
	10月21日	青少年国際交流事業、初めてカナダへ
15年	2月15日	那覇市・南風原町ごみ処理施設起工式
	3月16日	与那覇コミュニティセンター落成式
	6月30日	カナダレスブリッジ市と友好都市締結
	8月18日	市町村合併に向け、各字と意見交換会始まる
	9月9日	市町村合併に向けての住民アンケート実施
	10月17日	南風原・東風平・大里・具志頭合併協議会設置
16年	3月1日	南風原幼稚園新園舎完成
	4月9日	琉球絃・南風原花織町無形文化財認定
	9月1日	南風原小学校新校舎完成
	9月29日	南風原・東風平・大里・具志頭合併協議会解散
	10月2日	黄金森野球場オープン
	10月26日	南風原かぼちゃ拠点産地認定

10 山川(山川集落センター)



■自治会人口/1,089人
■世帯数/418戸
●住所/山川202
☎ 889-4429

12 宮城(宮城構造改善センター)



■自治会人口/1,030人
■世帯数/393戸
●住所/宮城218
☎ 889-2257

14 与那覇(与那覇コミュニティセンター)



■自治会人口/2,497人
■世帯数/992戸
●住所/与那覇59
☎ 889-2259

16 宮平ハイツ(宮平ハイツ集会所)



■自治会人口/364人
■世帯数/115戸
●住所/宮平1028-35
☎ なし

18 喜屋武(喜屋武集落センター)



■自治会人口/1,302人
■世帯数/517戸
●住所/喜屋武139
☎ 889-6603

20 神里(神里構造改善センター)



■自治会人口/853人
■世帯数/358戸
●住所/神里120-1
☎ 889-4428

9 津嘉山(津嘉山資料館)



■自治会人口/10,621
■世帯数/4,202戸
●住所/津嘉山690
☎ 889-1435

11 大名(大名公民館)



■自治会人口/1,015人
■世帯数/420戸
●住所/大名148
☎ 889-5267

13 北丘ハイツ(北丘ハイツ集会所)



■自治会人口/324人
■世帯数/142戸
●住所/宮平381-59
☎ 889-0308

15 宮平(宮平資料館)



■自治会人口/7,515人
■世帯数/2,857戸
●住所/宮平785-1
☎ 889-6655

17 慶原(慶原集会場)

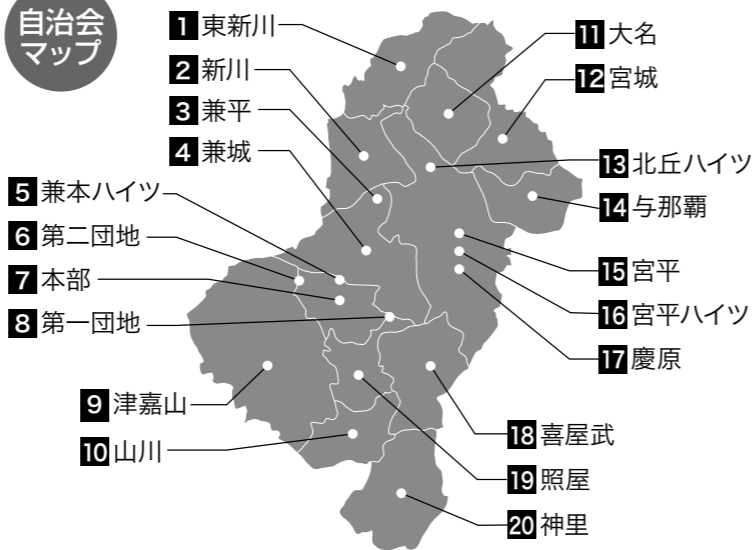


■自治会人口/55人
■世帯数/18戸
●住所/宮平1072-1
☎ なし

19 照屋(照屋農村コミュニティセンター)



■自治会人口/1,615人
■世帯数/623戸
●住所/照屋134
☎ 889-6632



南風原町
20
の自治会

令和3年2月末日現在

1 東新川(東新川災害時避難施設)



■自治会人口/255人
■世帯数/176戸
●住所/新川584
☎ 080-3374-0584

2 新川(新川コミュニティセンター)



■自治会人口/2,562人
■世帯数/1,103戸
●住所/新川148-12
☎ 889-0383

3 兼平(兼平自治会集会所)



■自治会人口/205人
■世帯数/84戸
●住所/兼城339-66
☎ なし

4 兼城(兼城公民館)



■自治会人口/5,828人
■世帯数/2,279戸
●住所/兼城84
☎ 889-6200

5 兼本ハイツ(兼本ハイツ集会所)



■自治会人口/616人
■世帯数/279戸
●住所/本部434-52
☎ 889-6661

6 第二団地(第二団地集会所)



■自治会人口/481人
■世帯数/203戸
●住所/津嘉山1116
☎ 889-6225

7 本部(本部公民館)



■自治会人口/1,763人
■世帯数/693戸
●住所/本部117
☎ 889-6648

8 第一団地(第一団地集会所)



■自治会人口/355人
■世帯数/150戸
●住所/本部144
☎ なし

■町の公共施設 (市街局番098)

名称	電話番号	所在地	敷地面積(m ²)	建物面積(m ²)
南風原町役場	☎ 889-4415	南風原町字兼城686	5,361	7,148
学校給食共同調理場	☎ 889-3691	南風原町字宮城248	9,660	1,193
町立宮平保育所	☎ 889-3920	南風原町字宮平9	2,933	572
町立公民館				
中央公民館	☎ 889-0568	南風原町字喜屋武218	黄金森公園一部	2,822
与那覇コミュニティセンター	☎ 889-2259	南風原町字与那覇59	2,183	433
新川コミュニティセンター	☎ 889-0383	南風原町字新川148-12	726	363
町立幼稚園				
南風原幼稚園	☎ 889-4101	南風原町字兼城684	南風原小一部	904
津嘉山幼稚園	☎ 889-4559	南風原町字津嘉山684	5,728	1,080
北丘幼稚園	☎ 889-6815	南風原町字宮平336	6,007	909
翔南幼稚園	☎ 889-7133	南風原町字喜屋武450	4,892	689
町立小学校				
南風原小学校	☎ 889-2088	南風原町字兼城685	26,114	9,942
津嘉山小学校	☎ 889-1230	南風原町字津嘉山684	25,092	8,072
北丘小学校	☎ 889-6520	南風原町字宮平336	46,875	8,471
翔南小学校	☎ 889-3401	南風原町字喜屋武450	36,468	6,824
町立中学校				
南風原中学校	☎ 889-2095	南風原町字兼城780	26,167	9,648
南星中学校	☎ 888-0432	南風原町字照屋200	34,537	10,084
町の公共施設				
文化センター	☎ 89-7399	南風原町字喜屋武257	黄金森公園一部	1,841
社会福祉センター	☎ 889-3213	南風原町字照屋1	4,589	1,495
総合保健福祉防災センター	☎ 889-7381	南風原町字宮平697-10	黄金森公園一部	2,394
琉球かすり会館	☎ 889-1634	南風原町字本部157	1,814	1,112
山川体育センター		南風原町字山川196	6,972	154
農村コミュニティセンター	☎ 889-6632	南風原町字照屋134	525	292
兼城児童公園		南風原町字兼城170	1,727	12
本部近隣公園		南風原町字本部352	22,784	37
宮城近隣公園		南風原町字宮城242-3	19,978	64
神里ふれあい公園		南風原町字神里712-1	6,318	49
黄金森公園	☎ 835-6755	南風原町字宮平718-1	194,009	3,276
新川公園		南風原町字新川148-1	2,803	64
北丘児童館	☎ 889-3883	南風原町字宮平489-1	696	295
兼城児童館	☎ 889-6114	南風原町字兼城84	601	328
本部児童館	☎ 889-5008	南風原町字本部116	977	370
津嘉山児童館	☎ 888-2925	南風原町字津嘉山663-1	898	404
南風原町観光案内所	☎ 882-6776	南風原町字喜屋武241-1	黄金森公園一部	75

資料：総務課

■町内の郵便局 (市街局番098)

名称	電話番号	所在地
南風原郵便局	☎ 889-2011	南風原町字兼城723
日本郵便 南風原中郵便局	☎ 889-0720	南風原町字兼城684-9
津嘉山郵便局	☎ 888-0702	南風原町字津嘉山1462-2
宮平郵便局	☎ 888-3533	南風原町字宮平258-3

■その他の施設 (市街局番098)

名称	所在地/電話番号
南風原町社会福祉協議会	南風原町字宮平697-10 ☎ 889-3213
沖縄中央育成園	南風原町字宮平548-1 ☎ 889-4100
よもぎ学園	南風原町字宮平550 ☎ 889-6011
東部消防組合本部	南風原町字与那覇226 ☎ 945-2200
東部消防署南風原出張所	南風原町字津嘉山939 ☎ 889-5174
南風原共同福祉施設	南風原町字本部158 ☎ 889-6889
南風原町商工会	南風原町字本部158 ☎ 889-6121
南風原町観光協会	南風原町字本部158 ☎ 851-7273
沖縄県土地改良事業団体連合会	南風原町字本部453-3 ☎ 888-4511
那覇市クリーン推進課	南風原町字新川650 ☎ 889-3567
那覇・南風原クリーンセンター	南風原町字新川650 ☎ 882-6701
那覇市・南風原町環境施設組合	南風原町字新川650 ☎ 882-6701
那覇市リサイクルプラザ	南風原町字新川641 ☎ 889-5396
沖縄県農業協同組合南風原支店	南風原町字山川526 ☎ 889-2191
沖縄県農業協同組合津嘉山支店	南風原町字津嘉山343 ☎ 889-5525
沖縄県農業協同組合南風原町役場支店	南風原町字兼城691 ☎ 889-2192
沖縄県農業協同組合南風原中部支店	南風原町字兼城193-1 ☎ 889-2704
JA南風原支店野菜集出荷場	南風原町字山川518 ☎ 889-3923
JA南風原支店花卉集出荷場	南風原町字山川519 ☎ 889-3923
JA南風原支店育苗センター	南風原町字山川522-3
JA南風原支店県内野菜集出荷場	南風原町字宮城445 ☎ 889-8551
JA津嘉山支店集出荷場	南風原町字津嘉山33 ☎ 889-4860
JA津嘉山支店花卉集出荷場	南風原町字津嘉山33 ☎ 889-4860
JA津嘉山支店堆肥センター	八重瀬町字外間153-2 ☎ 998-4143

資料：総務課

■県の公共施設 (市街局番098)

名称	所在地/電話番号
南部農業改良普及センター	南風原町字山川517 ☎ 889-3515
工芸指導所	南風原町字照屋213 ☎ 889-1186
計量検定所	南風原町字新川272-5 ☎ 889-2775
南風原高校	南風原町字津嘉山1140 ☎ 889-4618
開邦高校	南風原町字新川646 ☎ 889-1715
沖縄盲学校	南風原町字兼城473 ☎ 889-5375
精和病院	南風原町字新川260 ☎ 889-1390
兼城交番	南風原町字兼城684-10 ☎ 889-3892
南部福祉保健所	南風原町字宮平212 ☎ 889-6351
総合精神保健福祉センター	南風原町字宮平212 ☎ 888-1443
沖縄県公文書館	南風原町字新川148-3 ☎ 888-3875

資料：総務課

■各字自治会事務所 (市街局番098)

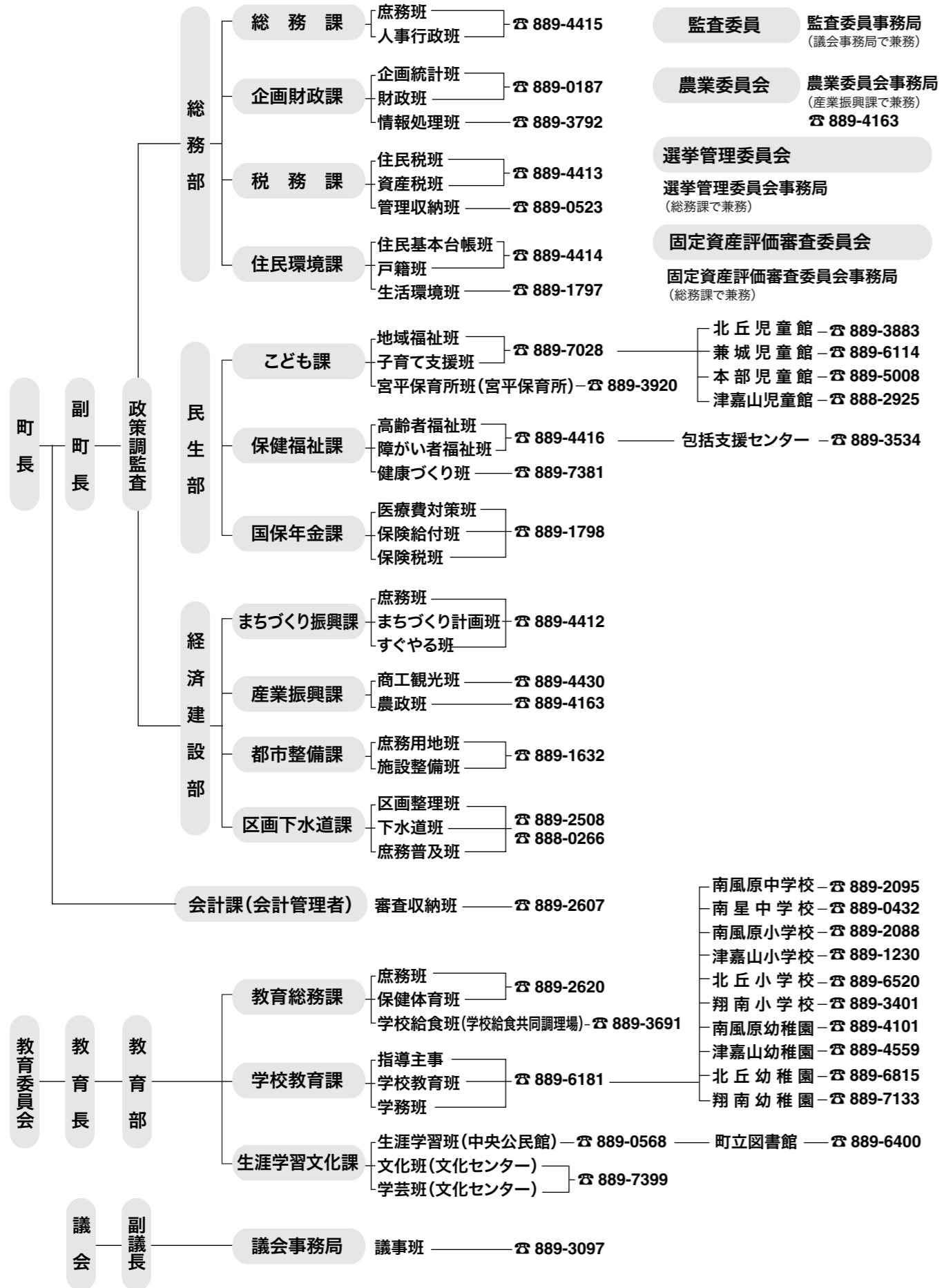
名称	所在地/電話番号	名称	所在地/電話番号
与那覇	南風原町字与那覇59 ☎ 889-2259	照屋	南風原町字照屋134 ☎ 889-6632
宮城	南風原町字宮城218 ☎ 889-2257	津嘉山	南風原町字津嘉山690 ☎ 889-1435
大名	南風原町字大名148 ☎ 889-5267	山川	南風原町字山川202 ☎ 889-4429
新川	南風原町字新川148-12 ☎ 889-0383	神里	南風原町字神里120-1 ☎ 889-4428
東新川	南風原町字新川584	兼本ハイツ	南風原町字本部434-52 ☎ 889-6661
宮平	南風原町字宮平785-1 ☎ 889-6655	第1団地	南風原町字本部144
慶原	南風原町字宮平1072-1	第2団地	南風原町字津嘉山1116 ☎ 889-6225
兼城	南風原町字兼城84 ☎ 889-6200	北丘ハイツ	南風原町字宮平381-59 ☎ 888-0308
本部	南風原町字本部117 ☎ 889-6648	宮平ハイツ	南風原町字宮平1028-35
喜屋武	南風原町字喜屋武139 ☎ 889-6603	兼平	兼城339-66

資料：総務課



南風原町行政機構図

(令和3年3月31日現在) 市外局番(098)



目で見る南風原

人口密度 (H30・12月末) <p>1km²に3,654人</p>	世帯人数 (H30・12月末) <p>1世帯に2.6人</p>	転入 (H30・1~12月) <p>1日に6.7人</p>	転出 (H30・1~12月) <p>1日に5.6人</p>
出生 (H30・1~12月) <p>年 573件 1日に1.6人</p>	死亡 (H30・1~12月) <p>年 229件 2日に1.3人</p>	結婚 (H30・1~12月) <p>年 226件 1.6日に1カップル</p>	離婚 (H30・1~12月) <p>年 89件 4.1日に1カップル</p>
ゴミ収集量 (H29年度) <p>1月1人あたり24kg</p>	水道使用量 (H29年度) <p>1日1人あたり287リットル</p>	火災 (H30・1~12月) <p>年 15件 24日に1件</p>	救急出動 (H30・1~12月) <p>年 1,891件 1日に5.2件</p>
原動機付自転車 (H30・4.1現在) <p>3,736台 4.1世帯に1台</p>	町の借金 (平成29年度) <p>140億5,626万円 1人あたり36万4,425円</p>	一般会計の決算 (平成29年度) <p>歳出=約165億3,922万円 1人あたり42万8,799円</p>	町税負担 (H29年度) <p>1人あたり10万2,950円</p>
医師 (H30・12月現在) <p>町民135人に1人</p>	町職員 (H30・4.1現在) <p>200人 町民186人に1人</p>	町議会議員 (H30・10.1現在) <p>16人 町民2,621人に1人</p>	<p>平成30年度版 統計はえはる(第13号)より 『統計はえはる』は【ともにつくる黄金南風の平和郷】の将来像の実現にむけてまちづくりを進める本町の人口、産業、経済、社会、教育など各分野における基本的な統計資料をとりまとめ、町勢の現状及び推移を明らかにした統計書です。</p> <p>詳しくはこちらから</p>

2020 沖縄県 南風原町町勢要覧

発行：2021年3月

編集：南風原町役場総務課

発行所：南風原町役場

〒901-1195 沖縄県島尻郡南風原町字兼城686番地

☎ (098) 889-4415

印刷：有限会社サン印刷

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577番地

☎ (098) 889-3679 (代)

<http://www.town.haeburu.lg.jp>

